



Cisco MeetingPlace Video Integration
アドミニストレータ ガイド
Release 5.3



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。見当たらない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) パブリック ドメイン パーミッションとして、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、すべてのマニュアルおよび上記各社のソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取り引きによって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いません。

CCSP、Cisco Square Bridge のロゴ、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0406R)

Cisco MeetingPlace Video Integration アドミニストレータ ガイド Release 5.3

Copyright © 2004 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



CHAPTER 1**Cisco MeetingPlace Video Integration Release 5.3 の概要 1-1**

- 対象読者 1-2
- 適用範囲 1-2
- 製品名の表記法 1-2
- Cisco MeetingPlace Video Integration の概要 1-3
- Cisco MeetingPlace Video Integration の機能と利点 1-4
- 追加情報 1-5

CHAPTER 2**Cisco MeetingPlace Video Integration のコンポーネントとプロセス 2-1**

- コンポーネントの概要 2-2
- サポートされる Cisco MeetingPlace のシステム構成 2-5
- Cisco MeetingPlace ビデオ会議のプロセスについて 2-6
 - ビデオ会議のスケジューリング 2-7
 - スケジュールされるビデオ ポートの最小数について 2-7
 - ビデオ会議の開始 2-7
 - Cisco IPVC MCU と Cisco MeetingPlace Audio Server 間のリンクの確立 2-8
 - ビデオ会議の参加者が会議に参加する方法 2-8
- ビデオ会議の実行 2-9
 - ビデオ映像について 2-9
 - 音声チャンネルについて 2-9
- 会議室にいるビデオ参加者のステータスとオプションの表示について 2-10
- Cisco MeetingPlace Video Integration によるポートの可用性のトラッキング 2-10
- ビデオ会議の終了 2-10

CHAPTER 3**Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール 3-1**

- インストールする前に 3-2
 - コンポーネント システムが実行中かどうかの確認 3-2
 - ビデオ会議のライセンスの確認 3-2

Cisco MeetingPlace を使用するための Cisco IPVC MCU の設定について	
3-3	
ビデオ エンドポイントから Cisco IPVC MCU に接続できるかどうかの確認	3-4
Cisco MeetingPlace 用の Cisco IPVC MCU ユーザの作成	3-4
Cisco MeetingPlace のサポートに必要な Cisco IPVC MCU パラメータの設定	3-5
Cisco MeetingPlace 用のサービスの作成	3-6
Cisco MeetingPlace Audio Server の設定	3-13
変換テーブルの変更	3-13
音声コーデックのネゴシエーションの優先順位の設定について	3-13
Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway の設定	3-14
ビデオ会議のロード バランシングの設定	3-14
ビデオ エンドポイントのインストールと設定について	3-15
(オプション) Cisco MeetingPlace for Outlook の設定	3-16
Cisco CallManager の設定	3-16
設定値の収集	3-17
H.323 ゲートキーパーの追加	3-17
Cisco IPVC MCU の H.225 トランクの作成	3-18
Cisco IPVC MCU にコールをルーティングするためのルート パターンの追加	3-18
DMZ 構成を使用した Video Integration のインストール準備	3-19
インストール値の収集	3-20
Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール	3-21
Cisco MeetingPlace Video Integration のアンインストール	3-22

CHAPTER 4

Cisco MeetingPlace Video Integration の設定および管理 4-1

Cisco MeetingPlace MeetingTime ソフトウェア アプリケーションについて	
4-1	
ビデオ会議のアクセス情報について	4-2
システムの設定内容の変更について	4-3
Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール時に入力した値の変更	4-3
他のコンポーネントの設定の変更	4-4
ビデオ会議リソースの管理について	4-5
ポート パラメータの設定について	4-8
ビデオ フロータ ポートの数の設定について	4-8
(オプション) オーバーブック ポートの数の設定	4-9
ビデオで使用するユーザ プロファイルの管理について	4-11
DMZ 構成およびビデオ会議に関する重要な情報	4-12

ビデオ会議の帯域幅について	4-13
ユーザ プロファイルとグループ プロファイルの情報の指定	4-13
ビデオ会議の統計情報について	4-14
ビデオ会議の統計情報の表示	4-14

CHAPTER 5

Cisco MeetingPlace ビデオ会議の使用	5-1
サポートされる会議の種類	5-2
Cisco MeetingPlace でのビデオ会議用のエンド ユーザのセットアップについて	5-3
ビデオ会議のスケジューリングについて	5-4
ビデオ会議をスケジュールできるユーザ	5-4
ビデオ会議をスケジュールできるタイミング	5-4
ユーザがビデオ会議をスケジュールする方法	5-4
ビデオ会議の再スケジュールについて	5-5
Cisco MeetingPlace ビデオ会議への参加について	5-6
ユーザが Cisco MeetingPlace ビデオ会議に参加する方法	5-6
Cisco MeetingPlace Web Conferencing からのアウトダイヤルによるビデオ会議への参加について	5-6
Cisco MeetingPlace for Outlook からのビデオ会議への参加について	5-6
SMTP 電子メール クライアントからのビデオ会議への参加について	5-7
Cisco VT Advantage ビデオ ポイントからのビデオ会議への参加について	5-7
ダイヤルインによるビデオ会議への参加について	5-7
アドホック ビデオ会議への参加について	5-8
パスワードで保護されている会議への参加について	5-8
招待者またはプロファイル ユーザに制限された会議への参加について	5-8
会議中の会議室でのビデオ機能	5-9
ビデオ送信の変更について	5-9
他の参加者のビデオ送信の変更について	5-10
ビデオ会議セッションの記録について	5-10
サブ会議セッションの開始について	5-10
講義形式の会議への参加について	5-10
ビデオ会議の延長について	5-11
ビデオ会議からの退席について	5-11
ビデオ会議の終了について	5-11
エンド ユーザ用の情報	5-11

CHAPTER 6

トラブルシューティング	6-1
イベントログの表示	6-2
ログの詳細レベルの設定	6-2
トラブルシューティングの一般的なガイドライン	6-3
Cisco MeetingPlace Video Integration の設定と開始に関する問題	6-4
ビデオ会議のスケジュールリングに関する問題	6-6
ビデオ会議への参加に関する問題	6-7
ビデオ会議中の問題	6-9

INDEX

索引



☒ 2-1

2-2

☒ 2-2

2-6



表 2-1	Cisco MeetingPlace でビデオ会議を統合するために必要なコンポーネント	2-3
表 3-1	Cisco MeetingPlace Release 5.3 のビデオをサポートするメディア プロセッサ	3-6
表 4-1	ビデオ会議のアクセス情報	4-2
表 4-2	会議およびポートのパラメータ	4-6
表 4-3	オーバーブック ポート の計算値の例	4-10
表 4-4	各グループで使用可能な設定	4-11
表 4-5	各ユーザの設定	4-11
表 4-6	ビデオ会議の統計情報	4-14
表 5-1	サポートされる会議の種類	5-2



Cisco MeetingPlace Video Integration Release 5.3 の概要

『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Video Integration Release 5.3』では、Cisco MeetingPlace Video Integration について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [対象読者 \(P.1-2\)](#)
- [適用範囲 \(P.1-2\)](#)
- [製品名の表記法 \(P.1-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Video Integration の概要 \(P.1-3\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Video Integration の機能と利点 \(P.1-4\)](#)
- [追加情報 \(P.1-5\)](#)

対象読者

このマニュアルは、次の製品に精通した Cisco MeetingPlace のシステム管理者を対象としています。これらの製品は、Cisco MeetingPlace Video Integration を使用するための前提条件となります。

- Cisco MeetingPlace 8100 シリーズ サーバおよび Cisco MeetingPlace MeetingTime ソフトウェア アプリケーション
- Cisco MeetingPlace Web Conferencing
- Cisco MeetingPlace システムを構成するその他の Cisco MeetingPlace 統合製品
- Cisco CallManager (ご使用の環境にこの製品が含まれている場合)
- Cisco IPVC MCU 3.5plus およびその必須コンポーネント

適用範囲

このマニュアルでは、Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール、設定、管理、およびトラブルシューティングの方法について説明します。このマニュアルでは、Cisco MeetingPlace の音声会議と Web 会議の設定方法、および Cisco IPVC MCU とそのコンポーネント (H.323 ゲートキーパー、ビデオ エンドポイント、ゲートウェイなど) の設定方法については、詳細に説明しません。また、Cisco CallManager の設定方法についても、このマニュアルでは詳細に説明しません。Cisco MeetingPlace Video Integration をインストールするには、Cisco IPVC ビデオ会議システム、Cisco CallManager、および Cisco MeetingPlace の音声会議と Web 会議システムを事前に起動し、実行しておく必要があります。

上記の各システムの詳細については、P 1-5 の「追加情報」に記載されているマニュアルを参照してください。

製品名の表記法

このマニュアルでは、次の製品やコンポーネントが頻出します。

正式名称	省略形
Cisco MeetingPlace 8100 シリーズ サーバ (Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3 ソフトウェアを含む)	Cisco MeetingPlace Audio Server
Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3	Cisco MeetingPlace Web Conferencing
Cisco MeetingPlace MeetingTime Release 5.3	MeetingTime
Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3	Cisco MeetingPlace for Outlook
Cisco IPVC MCU 3.5plus	Cisco IPVC MCU

Cisco MeetingPlace Video Integration の概要

Cisco MeetingPlace Video Integration は、個別にライセンス供与される Cisco MeetingPlace Web Conferencing のアドオン ソフトウェアであり、Cisco MeetingPlace の音声会議と Web 会議の機能と、Cisco IPVC Multipoint Control Unit (MCU) で提供されるビデオ会議機能を統合します。音声、Web、およびビデオ会議の参加者は、1 つのリッチ メディア会議でシームレスに対話できます。

ビデオ会議メディアのビデオ チャネルは、Cisco IPVC MCU によって完全に処理され、音声会議と Web 会議に平行して動作します。すべてのメディア (ビデオ、音声、およびデータ) はリンクされていますが、同時に各メディアはそれぞれ独立しています。そのため、各ストリームでは、その完全な機能セットと多機能性が維持されます。

次の手順は、(電子メール通知を含むシステムにおける) Cisco MeetingPlace Video Integration ソリューションの機能について、概略を示しています。

1. システム管理者が、ビデオ会議をスケジュールできるユーザを制御するためのユーザ プロファイル を Cisco MeetingPlace に設定します。
2. ビデオ会議のスケジュールを許可するプロファイルを持つユーザが、ビデオ会議、音声会議、および Web 会議の各機能を含む会議をスケジュールするために、単一の Cisco MeetingPlace フォームを送信します。ユーザは、パスワードを要求することも、プロファイルを持つユーザや招待されたユーザだけが参加できるように指定することもできます。
3. Cisco MeetingPlace が、使用可能な会議リソース (Cisco MeetingPlace Audio Server で使用可能なリソースと Cisco IPVC MCU のビデオ リソース) を追跡します。スケジュール担当者の要求を満たすのに十分なリソースが両方のシステムにある場合、Cisco MeetingPlace は会議をスケジュールし、招待者に通知を送信します。この通知には、参加者がすべての会議メディアにアクセスするために必要な情報が含まれています。
4. スケジュールされた会議の時刻になると、招待者は会議通知の情報を使用して、会議の各機能 (Cisco MeetingPlace の Web 会議と音声会議、および Cisco IPVC MCU で主催されるビデオ会議) に参加します。ビデオ参加者は、ルームベースのビデオ システムまたはデスクトップ上の IP ビデオ カメラ (Cisco VT Advantage など) を使用して、会議のビデオ機能に参加します。参加者は、さまざまな方法で、異なるメディアに参加できます。
5. Cisco MeetingPlace が、Cisco MeetingPlace システムの音声会議と Cisco IPVC MCU のビデオ会議を開始し、ビデオ会議の音声と音声会議の音声を結合するリンクを確立します。
6. 統合された会議に参加すると、音声のみの参加者とビデオ参加者がシームレスに対話できます。ビデオ参加者は、音声とビデオの送信および表示を Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室から制御できます。
7. スケジュールされた終了時刻を過ぎても会議を継続する必要がある場合、Cisco MeetingPlace が、Cisco MeetingPlace Audio Server と Cisco IPVC MCU の両方で会議リソースを使用できるかどうかを評価し、会議を延長できるかどうかを決定します。

リソースを使用できる場合は、既存の Cisco MeetingPlace の Web 会議にアドホック ベースでビデオ会議を追加することもできます。

エンド ユーザ側での Cisco MeetingPlace Video Integration の使用方法については、[第 5 章「Cisco MeetingPlace ビデオ会議の使用」](#)および[第 2 章「Cisco MeetingPlace Video Integration のコンポーネントとプロセス」](#)を参照してください。

Cisco MeetingPlace Video Integration の機能と利点

Cisco MeetingPlace Video Integration には、次の機能があります。

- 複数のメディアをまとめてリッチメディア会議の環境を作成することによって、会議の有効性を高める。
- 既存のネットワークや IP インフラストラクチャに簡単に統合できるソリューションを提供する。
- ビデオ会議リソースを最大限に活用できるように管理するためのツールが用意されている。
- エンド ユーザ向けに複数のメディアで、スケジューリング、通知の配信、出席、および参加のプロセスを簡素化する。
- Cisco IPVC MCU の既存のビデオ会議機能やネットワークとテレフォニーのインフラストラクチャ (Cisco CallManager など) を活用して、完全に統合されたマルチポイントの会議ソリューションをシスコのお客様に提供する。
- 重要なリソース管理ツールを Cisco MeetingPlace から Cisco IPVC MCU に拡張することにより、リソース使用の計画、割り当て、および測定を可能にして、ビデオ会議リソースを最大限に有効活用できるようにする。
- リソース管理のために、次の機能を提供する。
 - ビデオ会議リソースを事前にスケジュールする機能。Cisco MeetingPlace は、スケジューリング機能が組み込まれていない Cisco IPVC MCU でのビデオ会議リソースのスケジュールリングを管理します。
 - ポートのアベイラビリティを最適化して会議ポートの浪費を最小限に抑えるためのフロータポートとオーバーブックポート。このようなポートにより、アドホックビデオ会議に使用する会議ポートのアベイラビリティが向上します。
 - 指定された会議のスケジュール担当者およびグループに会議リソースの使用を制限するユーザプロファイル。
 - Cisco MeetingPlace の標準レポートに出力されるビデオ使用状況に関する統計情報。このような情報により、ニーズの評価およびすべてのリソースの管理を簡単に行うことができます。
- リッチメディア会議のプロセスをユーザ向けに簡素化して操作性を向上させるために、次の機能を提供する。
 - 統合されたスケジューリング。ユーザはシングルポイントからすべての会議リソースを調整できます。スケジューリングは、Microsoft Outlook や Web ブラウザなど、使い慣れたデスクトップアプリケーションを使用して行うことができます。
 - 会議ごとの通知。この通知には、その会議で使用されるすべての会議メディアにアクセスするためのリンクと手順説明が含まれます。
 - アドホックベースでのビデオ会議の開始およびビデオ会議への参加。ビデオ会議リソースが使用可能であれば、ユーザはアドホックベースでビデオ会議を開始したりビデオ会議に参加したりすることができます。
 - ユーザプロファイルのプリファレンス情報。参加プロセスの一部を自動化します。
 - Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室でのビデオ制御。ユーザは単一のインターフェイスから会議の機能をすべて制御できるようになります。

追加情報

Cisco MeetingPlace 製品

Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/roadmap.htm>

Cisco MeetingPlace Video Integration Release 5.3

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/video/53/index.htm>

Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/audio/53/index.htm>

Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/web/53/index.htm>

Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Release 5.2.1

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/ipgw/ip521/index.htm>

Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/outlook/mpol53/index.htm>

Cisco IPVC 製品

すべての Cisco IPVC 製品とそのコンポーネント

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/ipvc/index.htm>

Cisco IOS H.323 ゲートキーパー

Cisco IOS H.323 Configuration Guide

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/software/ios123/123cgr/vvfax_c/callc_c/h323_c/323conf/5gkconf.htm

あるいは、次のページでリンクを探してください。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/software/ios123/123cgr/vcl.htm>

Cisco CallManager

Release 4.1 のマニュアル

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_callmg/4_1/index.htm

Release 4.0 のマニュアル

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_callmg/4_0/index.htm

Cisco IP Video Telephony Solution Reference Network Design (SRND) for Cisco CallManager Release 4.0

http://www.cisco.com/application/pdf/en/us/guest/netsol/ns268/c649/ccmigration_09186a008026c609.pdf

Cisco VT Advantage

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/english/ipcvl/index.htm



Cisco MeetingPlace Video Integration のコンポーネントとプロセス

この章では、Cisco MeetingPlace Video Integration のソリューションに必要なコンポーネントについて説明します。

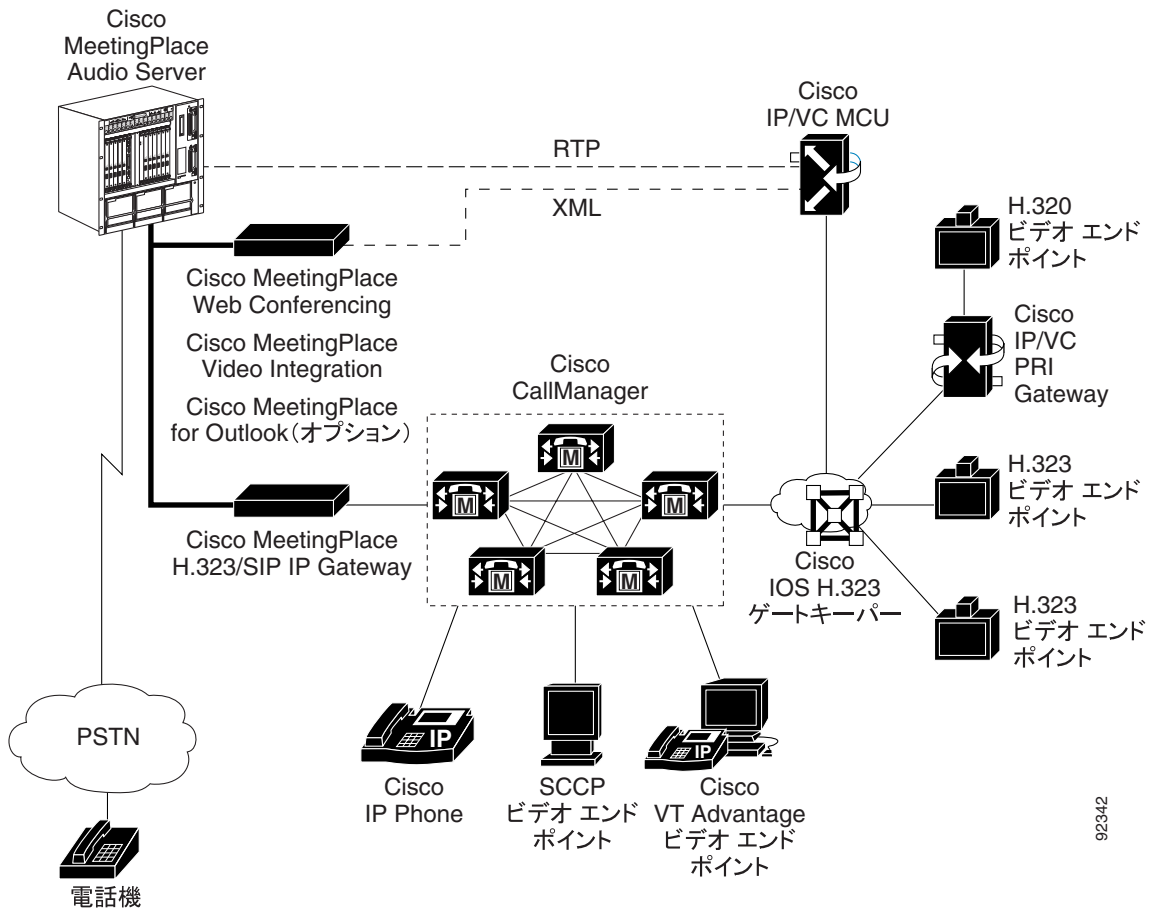
- [コンポーネントの概要 \(P.2-2\)](#)
- [サポートされる Cisco MeetingPlace のシステム構成 \(P.2-5\)](#)
- [Cisco MeetingPlace ビデオ会議のプロセスについて \(P.2-6\)](#)

コンポーネントの概要

図 2-1 と表 2-1 に示す各コンポーネントは連携して、Cisco MeetingPlace の音声会議と Web 会議に統合されるビデオ会議を提供します。

Cisco MeetingPlace Video Integration ソリューションでは、Cisco MeetingPlace のコンポーネントが音声会議と Web 会議のデータ コラボレーションを提供し、Cisco IPVC MCU とその関連コンポーネントがビデオ会議を提供します。Cisco MeetingPlace Video Integration は 2 つのソリューションを統合して、音声、データ、およびビデオが統合された会議機能を提供します。

図 2-1



92342

表 2-1 Cisco MeetingPlace でビデオ会議を統合するために必要なコンポーネント

コンポーネント	機能
Cisco MeetingPlace Audio Server	<ul style="list-style-type: none"> 音声会議を処理する。 Cisco IPVC MCU のビデオ会議ポートリソースをスケジュールする。 Cisco MeetingPlace Video Integration によって解釈されるパラメータを設定する。このパラメータは、会議リソースの制御に使用されません。
Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway	<ul style="list-style-type: none"> Cisco MeetingPlace システムが IP テレフォニー デバイスと通信できるようにする。 Cisco MeetingPlace Audio Server をネットワークおよび Cisco CallManager (または H.323 ゲートキーパー) に接続する。 Cisco MeetingPlace Audio Server と Cisco IPVC MCU 間のリンクを確立して、ビデオ参加者と音声参加者が互いに対話できるようにする。
Cisco MeetingPlace Web Conferencing	<ul style="list-style-type: none"> 会議のスケジュールリングや参加を行うためのユーザ インターフェイスを表示する。 ビデオ参加者のステータスを表示する。 Web 会議の会議室を提供する。ユーザは会議室からビデオ会議への参加や制御を行うことができます。 Cisco MeetingPlace Audio Server が Cisco MeetingPlace Video Integration と通信できるようにするコンポーネントを含む。
Cisco MeetingPlace for Outlook (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> 便利なスケジュールリング インターフェイスをエンド ユーザに表示する。 ビデオ会議、音声会議、および Web 会議への参加リンクを 2 種類の方法でユーザに提示する会議通知を配信する。
Cisco IPVC MCU	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ ストリームを処理して、システムのビデオ機能を提供する。 ビデオ エンドポイントと通信する。
H.323 ゲートキーパー	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤルされた番号に基づいて、ビデオ エンドポイントと Cisco IPVC MCU 間でコールをルーティングする。 IP プロトコルの信号を処理する。
Cisco IPVC PRI Gateway (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> H.320 ビデオ エンドポイントから Cisco IPVC MCU のビデオ会議に参加できるようにする。

表 2-1 Cisco MeetingPlace でビデオ会議を統合するために必要なコンポーネント (続き)

コンポーネント	機能
Cisco MeetingPlace Video Integration	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco IPVC MCU の設定を監視して、現在のステータスを Cisco MeetingPlace Audio Server に渡す。 • Cisco IPVC MCU にビデオ会議の作成と開始を許可する。 • Cisco IPVC MCU と Cisco MeetingPlace Audio Server 間の音声チャネルの作成を開始する。 • Cisco MeetingPlace Audio Server と Cisco IPVC MCU 間で情報の受け渡しを行う。 • 会議のスケジュール、開始、および終了の情報をさまざまなコンポーネント間で送信することによって、キャパシティを調整する。 • 会議の種類および Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室を介して出された要求に基づいて、Cisco IPVC MCU の動作を制御する。 • Cisco MeetingPlace Audio Server で会議用にスケジュールされたビデオポート(使用できるビデオフロータポートやビデオオーバーブックポートがある場合はそれも含む)の数に基づいて、ビデオ会議への参加者の入席を制御する。 • 会議の終了時期を Cisco IPVC MCU に通知する。 • Cisco IPVC MCU のすべての会議参加者の情報、および Cisco MeetingPlace Audio Server で割り当てられた対応する参加者 ID を追跡する。 • Cisco MeetingPlace Audio Server と Cisco IPVC MCU 間のリンクを監視し、接続が失われた場合にリカバリをサポートする。
ビデオ エンドポイント	<ul style="list-style-type: none"> • それぞれのユーザまたは場所からビデオ映像と音声をキャプチャして送信する。 • 他のビデオ会議の参加者からユーザまたは場所にビデオ映像と音声を受信して表示する。
Cisco CallManager (オプション)	<p>Cisco CallManager が設定されたネットワークで、次の機能を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SCCP エンドポイントから Cisco MeetingPlace の Web 会議に参加できるようにする。 • トラフィックをルーティングする。

サポートされる Cisco MeetingPlace のシステム構成

サポートされる Cisco MeetingPlace のシステム構成は次のとおりです。完全なシステム要件と Cisco MeetingPlace バージョンの互換性マトリクスについては、『*Release Note for Cisco MeetingPlace Video Integration Release 5.3*』を参照してください。

- 1 台の Cisco MeetingPlace 8100 シリーズ サーバ。
- 1 台以上の Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway サーバ。
- Release 5.3 でサポートされる構成の Cisco MeetingPlace Web Conferencing サーバ。ただし、Cisco MeetingPlace Video Integration をインストールできる Cisco MeetingPlace Web Conferencing サーバは 1 台だけです。
- 1 台の Cisco MeetingPlace Web Conferencing サーバにインストールされた Cisco MeetingPlace Video Integration。システムに DMZ 構成が含まれている場合は、Cisco MeetingPlace Video Integration をインストールする前の重要な注意点について、P 3-19 の「[DMZ 構成を使用した Video Integration のインストール準備](#)」を参照してください。DMZ 構成には、企業ファイアウォールの外側にある DMZ のサーバが 1 台以上含まれています。
- (オプション) Cisco MeetingPlace for Outlook。
- (オプション) Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway。

次の追加コンポーネントもサポートされています。

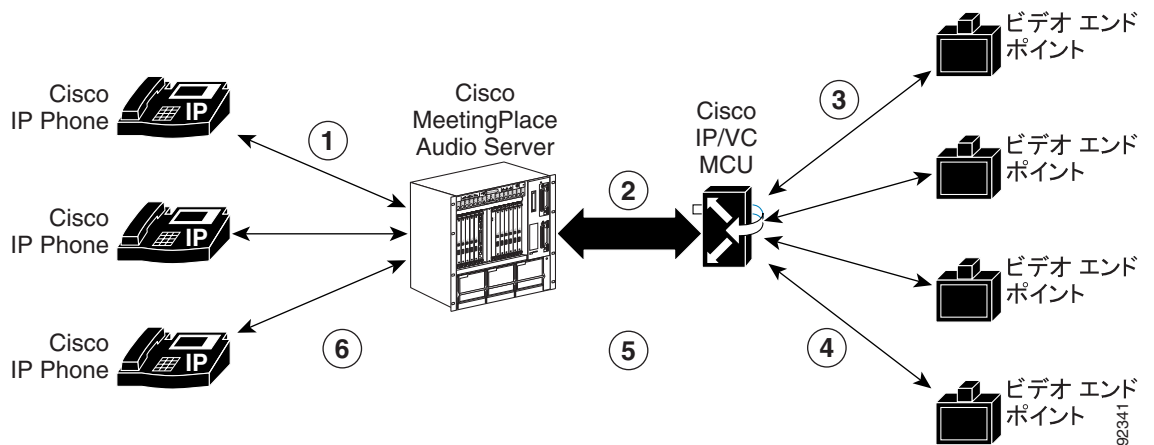
- 1 台の Cisco IPVC MCU とそのすべてのコンポーネント (H.323 ゲートキーパーを含む)。
- (オプション) Cisco CallManager。

Cisco MeetingPlace ビデオ会議のプロセスについて

この項では、ビデオ、音声、および Web が統合された会議の作成、実行、終了のプロセスについて説明します。

音声のみのデバイスを使用している参加者は、Cisco MeetingPlace Audio Server に接続します。ビデオ機器を所有する参加者は、ビデオ エンドポイントのビデオ チャネルと音声チャネルの両方を処理する Cisco IPVC MCU に接続します。Cisco MeetingPlace Video Integration は、両方のシステムからの音声ストリームを混合して、すべての参加者が互いに対話できるようにします。図 2-2 に、このプロセスを示します。

図 2-2



1	電話参加者の音声は、Cisco MeetingPlace Audio Server で処理されます。	4	ビデオ エンドポイントの音声チャネルとビデオ チャネルは、Cisco IPVC MCU で処理されます。
2	電話参加者からの音声チャネルは送信されて、Cisco IPVC MCU の音声に結合されます。	5	ビデオ エンドポイントの音声チャネルは送信されて、Cisco MeetingPlace の音声会議の音声に結合されます。
3	ビデオ参加者には、電話参加者からの音声が聞こえます。	6	電話参加者には、ビデオ エンドポイントからの音声が聞こえます。

ビデオ会議のスケジュールリング

Microsoft Outlook、Cisco MeetingPlace Web Conferencing、または MeetingTime で、1 人のユーザが Cisco MeetingPlace の標準の会議スケジュールリング フォームに入力します。次に、ユーザはそのフォームを Cisco MeetingPlace Audio Server に送信します。ユーザが会議にビデオ参加者を含めるように指定した場合、Cisco MeetingPlace Audio Server はリソースを使用できるかどうかを確認し、使用できる場合は、要求された数のビデオ ポートを実行し、(システム構成によっては) 招待者に通知します。

スケジュールされるビデオ ポートの最小数について

Cisco IPVC MCU で同時にサポートできる数を超えたビデオ会議がスケジュールされないようにするために、Cisco MeetingPlace は、会議のスケジュール担当者が会議用に指定した数より多くのビデオ ポートを実行する場合があります。Cisco MeetingPlace で会議ごとにスケジュールされるポートの最小数は、「(ビデオ会議ポートの総数 - ビデオ フロータ ポートの数 + ビデオ オーバブック ポートの数) / 使用できるビデオ会議の総数」という数式によって計算されます。ユーザがこの計算結果を超えるポート数をスケジュールした場合、Cisco MeetingPlace はスケジュール担当者の指定したポート数をスケジュールします。フロータ ポートとオーバブック ポートについては、P4-8 の「ポートパラメータの設定について」を参照してください。

ビデオ会議の開始

Cisco IPVC MCU は、Cisco IPVC MCU でのすべての H.323 ビデオ会議リソースと会議操作の制御 (会議の開始を含む) を Cisco MeetingPlace Video Integration が行えるように設定されています。Cisco MeetingPlace は、Cisco IPVC MCU の SCCP リソースを制御しません。

Cisco IPVC MCU でビデオ会議を開始するには、Cisco MeetingPlace Audio Server に Cisco MeetingPlace の Web 会議が存在している必要があります。ただし、会議が事前にスケジュールされている必要はありません。要求のあった時点でビデオ ポートとビデオ会議を使用できれば、即時会議または予約不要の会議としてスケジュールできます。

ビデオ会議に最初に参加する Cisco MeetingPlace の Web 会議の参加者が、Cisco IPVC MCU でのビデオ会議の作成を開始します。Cisco MeetingPlace Video Integration は、会議が現在セッション中か、既存の会議のガード タイム内かを確認した上で、Cisco IPVC MCU に対し、会議 ID でビデオ会議を即時に作成するように指示します。

ビデオ会議の会議 ID には、Cisco IPVC MCU での Cisco MeetingPlace の Web 会議を識別する MeetingPlace のサービスプレフィクスと、その会議に対応した Cisco MeetingPlace の標準の会議 ID が含まれています。この会議 ID は、ゲートキーパーまたは Cisco CallManager によって、この会議への着信コールをネットワーク経由で Cisco IPVC MCU にルーティングするために使用されます。

Cisco MeetingPlace Audio Server で会議がスケジュールされていない場合、Cisco IPVC MCU へのダイヤルインによって会議を作成することはできません。参加者が会議を開始するために Cisco IPVC MCU にダイヤルインすると、Cisco IPVC MCU から Cisco MeetingPlace Video Integration に新しいビデオ会議に関する情報が送信されます。会議がまだ Cisco MeetingPlace でスケジュールされていないか、現在セッション中でないか、またはスケジュールされた会議のガード タイム外である場合、Cisco MeetingPlace Video Integration は、Cisco IPVC MCU に対し、会議を作成しないように指示します。

Cisco IPVC MCU と Cisco MeetingPlace Audio Server 間のリンクの確立

最初のビデオ参加者は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室からアウトダイヤルするか、Cisco IPVC MCU にダイヤルインすることによって、許可されたビデオ会議に参加します。その後、Cisco MeetingPlace は、ビデオ会議の音声チャネルおよび Cisco MeetingPlace Audio Server の音声チャネルを接続するリンクを作成します。

このリンクを開始するために、Cisco MeetingPlace Video Integration は、Cisco MeetingPlace Audio Server に対し、Cisco IPVC MCU にアウトダイヤルするように指示します。そのコールは、Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway を介して Cisco CallManager または H.323 ゲートキーパーにルーティングされます。この 2 つはいずれも、コールを Cisco IPVC MCU にルーティングするように設定されています。ゲートキーパーか Cisco IPVC MCU のいずれかが、正しい会議にコールをルーティングできます。このトランザクションのルーティングパターン（アウトダイヤル番号）は、Cisco IPVC MCU で Cisco MeetingPlace の Web 会議を識別するサービス プレフィクス（ゲートキーパーや CallManager で設定されたすべてのルーティングパターンの中で一意なもの）と、この会議に対する Cisco MeetingPlace の会議 ID で構成されます。Cisco MeetingPlace Video Integration は、このリンクの確立を 3 回試行します。

リンクが確立されると、Cisco IPVC MCU のビデオ会議の音声チャネル全体が Cisco MeetingPlace 音声会議の参加者になります。この逆についても同様です。



(注)

ビデオリンクは、MeetingTime のセッション中のタブに、名前付きの参加者として表示されますが、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室には表示されません。また、ビデオリンクは一部のレポートにも含まれますが、すべてのレポートに含まれるわけではありません。P 4-14 の「[ビデオ会議の統計情報について](#)」を参照してください。

リンクが確立されると、Cisco IPVC MCU と Cisco MeetingPlace Audio Server 間の以降の通信はすべて Cisco MeetingPlace Video Integration のコンポーネントを介して処理されます。このコンポーネントは、MPAgent を介して Cisco MeetingPlace Audio Server と通信します。MPAgent は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing のコンポーネントの 1 つであり、Cisco MeetingPlace Video Integration をインストールするための前提条件となります。Cisco MeetingPlace Video Integration は、独自の XML メッセージを使用して Cisco IPVC MCU と通信します。

Cisco MeetingPlace と Cisco IPVC MCU 間のリンクが解除されると、Cisco MeetingPlace Video Integration は、その再確立を毎分 3 回試行するか、または別の参加者が会議に参加したときに試行します。

ビデオ会議の参加者が会議に参加する方法

別の参加者がビデオ会議に参加する方法はいくつかあります。会議に参加者を追加するプロセスは、参加者が会議にどのように参加するかによって異なります。

参加者が Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室からアウトダイヤルして、スケジュールされたビデオ会議に参加する場合

参加者が Cisco MeetingPlace Web Conferencing または Cisco MeetingPlace for Outlook の会議通知の [MeetingPlace] タブから [Connect] をクリックすると、Cisco MeetingPlace Video Integration が Cisco IPVC MCU にメッセージを送信して参加者のエンドポイントにアウトダイヤルします。参加者が正常にビデオ会議に参加すると、Cisco IPVC MCU が Cisco MeetingPlace Video Integration に通知するとともに、参加者のステータスが、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室に表示される参加者リストに記録されます。

参加者が Cisco IPVC MCU にダイヤルインして、スケジュールされたビデオ会議に参加する場合

参加者は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室にある [Connect] ダイアログボックスで提供された番号を使用して、自分のビデオ エンドポイントから会議にダイヤルインします。この番号は、Cisco MeetingPlace の Web 会議を識別する Cisco IPVC MCU のサービス プレフィクスであり、Cisco MeetingPlace の会議 ID に付加されます。Cisco CallManager またはゲートキーパーは、Cisco IPVC MCU に指定されたサービス プレフィクスで始まる H.323 着信コールをすべてルーティングします。それぞれのコールは、ダイヤルされた番号のうち Cisco MeetingPlace の会議 ID の部分に基づいて、正しいビデオ会議にルーティングされます。

参加者が自分のビデオ エンドポイントからダイヤルインしてビデオ会議に参加しようとした場合、Cisco IPVC MCU は、招待されたユーザまたはプロファイル ユーザに会議が制限されていない場合、または会議にパスワードが要求されない場合に限り、コールを受け付けます。これは、Cisco IPVC MCU ではダイヤルインの参加者を認証できないためです。参加者にアクセス権が与えられた場合、Cisco IPVC MCU は、会議がセッション中およびガード タイム内かどうかを Cisco MeetingPlace Video Integration に問い合わせます。条件が満たされている場合、Cisco IPVC MCU は参加者にビデオ会議への参加を許可し、参加者が会議に参加したことを Cisco MeetingPlace Video Integration に通知します。Cisco MeetingPlace Video Integration は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing と Cisco MeetingPlace Audio Server に対して、参加者のステータスを通知します。

参加者がビデオ会議にアドホック ベースで参加する場合

スケジュールされたビデオ会議ポートがすでに進行中の会議ですべて使用されているときに、別の参加者がビデオ会議に参加しようとする、そのユーザはアドホック ベースで参加できることがあります。この場合、Cisco IPVC MCU は Cisco MeetingPlace Video Integration をポーリングしてビデオ会議ポートを使用できるかどうかを確認します。使用できる場合は、Cisco IPVC MCU が参加者に会議への参加を許可します。

ビデオ会議の実行

ビデオ映像について

ビデオ エンドポイントへの映像ストリームおよびビデオ エンドポイントからの映像ストリームは、Cisco IPVC MCU で完全に処理されます。コールが接続されると、ビデオ エンドポイントからメディア ストリームがルーティングされ、Cisco IPVC MCU でビデオ ストリームに統合されます。その後、ビデオ エンドポイントに戻されてユーザに表示されます。ただし、ユーザは送信のステータス（開始、一時停止、終了など）を、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室から制御します。[P 2-10 の「会議室にいるビデオ参加者のステータスとオプションの表示について」](#)を参照してください。

音声チャンネルについて

Cisco IPVC MCU と Cisco MeetingPlace の音声ストリームの混合により、音声会議とビデオ会議の参加者は互いに対話することができます。各ビデオ ポイントからの音声チャンネルは Cisco IPVC MCU にルーティングされ、ビデオ リンクを介して Cisco MeetingPlace Audio Server に渡されます。このとき、その音声チャンネルは、音声だけのエンドポイントからの音声と混合され、すべてのユーザに送り返されます。そのため、ビデオ エンドポイントと音声だけのエンドポイントの参加者がシームレスに音声を交わすことができるようになります。

会議室にいるビデオ参加者のステータスとオプションの表示について

Cisco IPVC MCU は参加者にビデオ会議への参加を許可したときに Cisco MeetingPlace Video Integration に通知し、Cisco MeetingPlace Video Integration は Cisco MeetingPlace Web Conferencing に通知します。Cisco MeetingPlace Web Conferencing は、参加者を Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室の参加者リストにあるビデオ参加者として識別します。参加者の名前は、Cisco MeetingPlace からアウトダイヤルした場合は参加者のプロフィールまたはゲスト情報から表示され、ビデオ会議にダイヤルインした場合はゲートキーパーから表示されます。参加者がビデオ接続をミュート、一時停止、ビュー変更、または終了した場合は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing がこの変更を会議室のユーザ インターフェイスに登録し、Cisco MeetingPlace Video Integration に要求を渡します。続いて、Cisco MeetingPlace Video Integration が Cisco IPVC MCU に要求を渡し、Cisco IPVC MCU で要求が実行されます。ユーザがビデオ エンドポイントを切断して接続を終了した場合は、Cisco IPVC MCU が Cisco MeetingPlace Video Integration に通知します。続いて、Cisco MeetingPlace Video Integration が Cisco MeetingPlace Web Conferencing に通知して、参加者のステータスがアップデートされます。

ビデオ参加者が話すと、[発信中] の表示に [ビデオ参加者] と表示されます。

Cisco MeetingPlace Video Integration によるポートの可用性のトラッキング

使用可能なポートと会議の数は、Cisco IPVC MCU によって決定されます。Cisco MeetingPlace Video Integration は、Cisco IPVC MCU を 30 分おきにポーリングしてこの情報を取得し、Cisco MeetingPlace Audio Server に渡します。続いて、Cisco MeetingPlace Audio Server がこの情報を MeetingTime に表示します。Cisco MeetingPlace Video Integration は、この情報を使用して、ビデオ会議の作成と入席を調整します。

ビデオ会議の終了

Cisco IPVC MCU のビデオ会議は、Cisco MeetingPlace Audio Server での会議の終了に関する標準ルールに従って、Cisco MeetingPlace の Web 会議の終了とともに終了します。このとき、Cisco MeetingPlace Video Integration は Cisco IPVC MCU にビデオ会議が終了したことを通知します。



Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール

Cisco MeetingPlace Video Integration をセットアップするには、次の作業を実行します。

- [インストールする前に \(P.3-2 \)](#)
- [Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール \(P.3-21 \)](#)
- [Cisco MeetingPlace Video Integration のアンインストール \(P.3-22 \)](#)

インストールする前に

Cisco MeetingPlace Video Integration のインストーラを実行する前に、次の作業を順番に完了してください。

- [コンポーネントシステムが実行中かどうかの確認 \(P.3-2\)](#)
- [ビデオ会議のライセンスの確認 \(P.3-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace を使用するための Cisco IPVC MCU の設定について \(P.3-3\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Audio Server の設定 \(P.3-13\)](#)
- [Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway の設定 \(P.3-14\)](#)
- [ビデオ会議のロード バランシングの設定 \(P.3-14\)](#)
- [ビデオエンドポイントのインストールと設定について \(P.3-15\)](#)
- [\(オプション\) Cisco MeetingPlace for Outlook の設定 \(P.3-16\)](#)
- [Cisco CallManager の設定 \(P.3-16\)](#)
- [DMZ 構成を使用した Video Integration のインストール準備 \(P.3-19\)](#)
- [インストール値の収集 \(P.3-20\)](#)

コンポーネントシステムが実行中かどうかの確認

Cisco MeetingPlace Video Integration をインストールする前に、必要なコンポーネントシステムが個別に実行されている必要があります。

ステップ 1 次の点を確認します。

- Release 5.3 の Cisco MeetingPlace システムが実行中であること (Cisco MeetingPlace Audio Server および Cisco MeetingPlace Web Conferencing を含む)。
 - 組織でサポートされているすべてのビデオ エンドポイント (H.323、SCCP、および ISDN) から Cisco IPVC MCU のビデオ会議に正常に参加できること。エンドポイントからは、ダイヤルインによる参加とエンドポイントへの Cisco IPVC MCU のコールによる参加の両方が可能である必要があります。
-

ビデオ会議のライセンスの確認

ご使用の Cisco MeetingPlace システムに Cisco MeetingPlace Video Integration のライセンスが供与されていることを確認します。

Cisco MeetingPlace MeetingTime コーティリティの詳細については、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』を参照してください。

ステップ 1 MeetingTime で [**Configure**] タブをクリックし、[**System Options**] をクリックします。

ステップ 2 [**Query**] をクリックします。

ステップ 3 [**Cisco MeetingPlace Video Integration**] が表示されるまで > ボタンをクリックします。

ステップ 4 [Number of licenses] が 1 であることを確認します。0 になっている場合は、シスコ テクニカル サポート 担当者にお問い合わせください。『*Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support*』を参照してください。

Cisco MeetingPlace を使用するための Cisco IPVC MCU の設定について

Cisco MeetingPlace Video Integration に Cisco IPVC MCU を設定する前に、Cisco IPVC MCU が Cisco MeetingPlace Video Integration とは独立して動作し、ビデオ会議を主催および管理できることを確認します。

ビデオ会議のパラメータの詳細については、Cisco IPVC MCU のマニュアル (リリース ノートの『*Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Administrator Guide, Version 3.2*』および『*Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Release Notes for Release 3.5*』を含む) を参照してください。

Cisco IPVC MCU の H.323 リソースは、すべて 1 つの Cisco MeetingPlace サービス専用となっており、Cisco MeetingPlace が Cisco IPVC MCU の H.323 リソースをすべて制御します。ただし、会議は SCCP (SKINNY プロトコル) を使用して作成でき、その会議は Cisco MeetingPlace によって制御されません。Cisco IPVC MCU のリソースは、Cisco MeetingPlace サービスと SCCP サービス間で共有されません。

Cisco MeetingPlace サービスに関連付けられた一意のサービス プレフィクスは、発信者を Cisco IPVC MCU にルーティングするために使用され、ゲートキーパーや Cisco CallManager の他のルーティング パターンとは競合できません。

Cisco IPVC MCU の次のオプション カードはサポートされていません。

- Rate Matching カード
- Data Conferencing カード

Cisco MeetingPlace Audio Server が G.729 だけを使用するように設定されている場合は、Cisco IPVC MCU が G.729 をサポートするように設定されていることを確認します。トランスコーダ カードが必要な場合もあります。音声コーデックの指定については、Cisco IPVC MCU のオンライン ヘルプ を参照してください。

Cisco IPVC MCU の設定を変更することにより、使用可能なビデオ会議やビデオ ポートの数が減少する場合は、ユーザが Cisco MeetingPlace を介して会議のスケジュールを開始した後に、そのような設定の変更を行うことはお勧めしません。Cisco IPVC MCU の設定を変更する前に、[P 4-4 の「他のコンポーネントの設定の変更」](#)を参照してください。

Cisco MeetingPlace の Web 会議にビデオ コンテンツを配信するように Cisco IPVC MCU を設定するには、次の手順を実行する必要があります。

ステップ 1 すべてのビデオ エンドポイントから Cisco IPVC MCU の会議に接続できること、および Cisco IPVC MCU からすべてのビデオ エンドポイントにコールアウトできることを確認します。

ステップ 2 Cisco MeetingPlace 用の Cisco IPVC MCU ユーザを作成します。

ステップ 3 Cisco MeetingPlace のサポートに必要な Cisco IPVC MCU の管理パラメータを次のように設定します。

- Cisco MeetingPlace の会議用にポートを確保する。

- 許可されたユーザだけが Cisco IPVC MCU を使用してビデオ会議を作成できるように設定する。この場合、Cisco MeetingPlace だけがビデオ会議の作成を許可されます。
- Cisco MeetingPlace の待合室へのアナウンスを Cisco IPVC MCU が生成できるようにする。

ステップ 4 Cisco MeetingPlace 用の Cisco IPVC MCU サービスを作成します。



(注) 組み込み Cisco IPVC メディア プロセッサをスタックして Cisco MeetingPlace とともに使用することはできません。

ビデオ エンドポイントから Cisco IPVC MCU に接続できるかどうかの確認

Cisco MeetingPlace Video Integration を実行する前に、エンドポイントから Cisco IPVC MCU のビデオ会議に参加できる必要があります。

Cisco IOS H.323 ゲートキーパーを使用したコールのルーティングに関する不明点については、『Cisco IOS H.323 Configuration Guide』を参照してください。

ステップ 1 Cisco IPVC MCU のマニュアルの指示に従って、ビデオ エンドポイントごとにビデオ会議へのダイヤルインを設定します。

ステップ 2 Cisco IPVC MCU のマニュアルの指示に従って、Cisco IPVC MCU から各ビデオ ポイントへのコールを設定します。

Cisco MeetingPlace 用の Cisco IPVC MCU ユーザの作成

Cisco MeetingPlace Video Integration から Cisco IPVC MCU へのログインに使用するユーザ名とパスワードを作成します。

ステップ 1 Cisco MeetingPlace で使用する Cisco IPVC MCU の Cisco IP/VC Administrator にログインします。

ステップ 2 サイドバーの [Board] または [Device] をクリックします。

ステップ 3 [Users] タブをクリックします。

ステップ 4 [Add] ボタンをクリックします。

[Add User] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 5 [User name] フィールドで、Cisco MeetingPlace Web Conferencing サーバから Cisco IPVC MCU へのログインに使用する名前を入力します。

ステップ 6 [Access level] フィールドで、[Administrator] または [Operator] をクリックします。

ステップ 7 [Password] フィールドで、このユーザに割り当てるパスワードを入力します。

- ステップ 8 [Confirm Password]フィールドで、Cisco MeetingPlace で使用するパスワードを入力します。
- ステップ 9 このユーザが Cisco IPVC MCU に Telnet 接続できないようにするには、[Enable for Telnet / FTP] チェックボックスをオフにします。
- ステップ 10 このユーザ プロファイルを保存するには、[Upload]をクリックします。
-

Cisco MeetingPlace のサポートに必要な Cisco IPVC MCU パラメータの設定

Cisco IPVC MCU で Cisco MeetingPlace を使用するには、Cisco MeetingPlace の Web 会議にビデオを提供するように特定の Cisco IPVC MCU パラメータを設定する必要があります。

Cisco IPVC MCU の動作設定については、『Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Administrator Guide, Version 3.2』を参照してください。

- ステップ 1 Cisco MeetingPlace サーバで使用する Cisco IPVC MCU の Cisco IPVC Administrator にログインします。
- ステップ 2 [MCU]> [Settings]> [Basics]を選択します。
- ステップ 3 [MCU]フィールドで、[MCU]をクリックします。
- ステップ 4 [Number of SCCP ports]フィールドで、Cisco MeetingPlace 用のポートを残して Cisco CallManager で使用するポートの数に対応する値を選択します。
- たとえば、60 ポートの Cisco IPVC MCU の場合は、0、15、30、または 45 を選択します。
- ステップ 5 [Conference Mgmt]ボタンをクリックします。
- ステップ 6 [Conference Mgmt]ページで、次のパラメータを設定します。
- [External conference authorization policy]フィールドで、[Authorize]をクリックします。
 - [Allow conference creation using]フィールドで、[Scheduler, Web, Control API and dial-in]をクリックします。
 - [Allow conference joining using]フィールドで、[Invite and dial-in]をクリックします。
 - [Dial-in conference terminates when]フィールドで、[Last participant leaves]をクリックします。
- ステップ 7 [Advance]ボタンをクリックします。
- ステップ 8 [Disconnect participants on communications (ICMP) failure]チェックボックスをオンにし、[Disconnect on]フィールドで [Audio failure]をクリックすることをお勧めします。
- ステップ 9 この設定をメモリに保存するには、[Upload]をクリックします。
-

音声通知の間隔の設定 (オプション)

ビデオ参加者は、まだ開始されていない会議に参加した場合、待合室で待機する必要があります。参加者の待機中にアナウンスを再生するには、次のパラメータを設定します。

ステップ 1 [MCU] をクリックし、[Settings] をクリックします。

ステップ 2 [Advanced] ボタンをクリックします。

ステップ 3 [Commands] ボタンをクリックします。

[Advanced Command] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 [Advanced Command] ダイアログボックスで、次の操作を行います。

a. [Available commands] ウィンドウで、[Audio indication interval] をクリックします。

選択したコマンドが [Command] フィールドに表示されます。

b. [Parameter] フィールドで、ビデオ参加者が待合室に入っていること、および会議が正式に開始されていないことを Cisco MeetingPlace がビデオ参加者にアナウンスする間隔を、ミリ秒単位の値で入力します。



ヒント 1500 と入力して 15 秒の間隔を設定することをお勧めします。

c. [Send] をクリックし、[Close] をクリックします。

Cisco MeetingPlace 用のサービスの作成

Cisco MeetingPlace 用の Cisco IPVC MCU サービスを作成する必要があります。Cisco IPVC MCU でサービスを作成する前に、Cisco IPVC MCU で使用するメディア プロセッサ (MP) が Cisco MeetingPlace をサポートしていることを確認します。

表 3-1 は、Cisco MeetingPlace をサポートする Cisco IPVC メディア プロセッサを示しています。

表 3-1 Cisco MeetingPlace Release 5.3 のビデオをサポートするメディア プロセッサ

Cisco IPVC メディア プロセッサ	Cisco MeetingPlace をサポートするソフトウェア
ローカルの Cisco IPVC MCU メディア プロセッサ	Release 3.5.24 以降のリリース
Cisco IPVC EMP	Release 2.0.11 以降のリリース
Cisco IPVC 速度整合モジュール	Cisco MeetingPlace をサポート対象外
Data Conferencing カード	Cisco MeetingPlace をサポート対象外

事前に設定された Cisco MeetingPlace のサービス テンプレートの 1 つを使用することができます。あるいは、Cisco MeetingPlace サービスを手動で作成することもできます。

事前に設定されたサービス テンプレートの使用

Cisco IPVC MCU Release 3.5.24 には、Cisco MeetingPlace 向けに事前に設定されたサービスが 3 つ含まれています。



(注)

Cisco MeetingPlace のサービス プレフィクスは、新しい Cisco IPVC MCU の [IP/VC Administrator Services] ページに自動的に表示されます。ただし、Cisco IPVC MCU を Release 3.5.24 にアップグレードしたときは、このサービスが表示されません。サービスを表示するには、工場出荷時のデフォルトに戻すオプションを使用する必要があります。デフォルトに戻した場合、現在の設定は失われます。

Cisco MeetingPlace のサービス テンプレートを既存の Cisco IPVC MCU のマシンにインストールし、既存のサービスを削除するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Cisco IPVC MCU のインストーラを実行します。
- ステップ 2 最初のインストール画面で、[Customize] をクリックします。
- ステップ 3 [MCU Config File] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 4 インストールを続行します。
- ステップ 5 インストールが完了したら、Cisco IPVC MCU に管理者としてログインします。
- ステップ 6 サイドバーの [MCU] をクリックし、[Services] タブをクリックします。
- ステップ 7 [Services] タブで、必要に応じて適切なテンプレートを選択します。[Voice Activated] を選択すると、参加者は [View Active Speaker] が可能になります。一方、[Continuous Presence] を選択すると、参加者は [View Multiple People] が可能になります。Web 会議の会議室にいる参加者が使用できる設定を次に示します。

Service Prefix	Supported Views	Supported Endpoints	Processors Required	Format	Allow Dynamic Scheme
887	[Voice Activated] および [Continuous Presence]	H.323	MP	H.261	オフ
888	[Voice Activated]	SCCP, H.323	MP	H.263	オン
889	[Voice Activated] および [Continuous Presence]	SCCP, H.323	MP および EMP	H.263	両方のビューでオン

- ステップ 8 「[Cisco MeetingPlace を使用するための Cisco IPVC MCU の設定について](#)」の残りのトピックを参照し、必要に応じてその他の設定を行います。

手動でのサービスの作成

Cisco MeetingPlace 用の Cisco IPVC MCU サービスを作成するには、次の作業を実行します。

- [コア サービス パラメータの設定 \(P.3-8\)](#)
- [音声通知の設定 \(P.3-9\)](#)
- [会議パスワードが不要かどうかの確認 \(P.3-9\)](#)
- [会議ビューのパラメータの設定 \(P.3-9\)](#)
- [ビデオ方式のパラメータの設定 \(P.3-12\)](#)

コア サービス パラメータの設定

ステップ 1 サイドバーの [MCU] をクリックし、[Services] タブをクリックします。

ステップ 2 [Add] ボタンをクリックします。

[Select Service] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 3 新しいサービスを作成するには、[OK] をクリックします。

[Add Service] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 [Service prefix] フィールドで、Cisco MeetingPlace のサービスに使用する値を入力します。

ステップ 5 [SCCP Service] チェックボックスをオフにします。このチェックボックスをオフにしても、SCCP エンドポイントのユーザは Cisco MeetingPlace の Web 会議に参加できます。

ステップ 6 [Service description] に、このサービスの説明を入力します。この説明は、[Create Conference] ページに表示されます。

ステップ 7 [Media types] セクションで、[Video] チェックボックスをオンにします。



(注) Cisco MeetingPlace では、会議でのデータ コラボレーションが可能です。Cisco IPVC MCU のデータ コラボレーションが現在有効になっている場合は無効にします。

ステップ 8 会議ごとに Cisco IPVC MCU で確保するポート数を、次のように指定します。

- [Reserved number of parties] フィールドに、2 と入力します。



(注) このポートの 1 つが Cisco MeetingPlace サーバ用に確保されます。



ヒント [Maximum number of parties] フィールドに 200 と入力して、ページの下部にある [OK] をクリックすると、このサービスでサポートできる最大ポート数を確認できます。表示されるエラー メッセージは、[Conference Views] セクションで指定されたビデオ帯域幅の値に基づいて、現在の設定が許容する最大ポート数を示しています。

- b. [Maximum number of parties] フィールドで、会議に使用できる Cisco IPVC MCU のポートの総数を入力します。

音声通知の設定

音声通知のパラメータをすべて有効にすることをお勧めします。

ステップ 1 [**Indications**] ボタンをクリックします。

[Indications Settings] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 2 すべてのチェックボックスがオンになっていることを確認します。

ステップ 3 [OK] をクリックします。

会議パスワードが不要かどうかの確認

ステップ 1 [**Management**] ボタンをクリックします。

[Management Settings] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 2 パスワード関連のチェックボックスがオフになっていることを確認します。

ステップ 3 [OK] をクリックします。

[Add Services] ダイアログボックスが表示されます。

会議ビューのパラメータの設定

ビューのパラメータを設定する場合は、Cisco MeetingPlace のサービス テンプレートをモデルとして使用します。テンプレートの詳細については、P 3-7 の「[事前に設定されたサービス テンプレートの使用](#)」を参照してください。[Voice Activated] ビューを選択すると、参加者は [View Active Speaker] が可能になります。一方、[Continuous Presence] ビューを選択すると、参加者は [View Multiple People] が可能になります。



(注) 1 つの [Voice Activated] につき、参加者 1 人のレイアウトが必要になります。[Continuous Presence] ビューは、ハードウェアがサポートしている場合のオプションです。

ビューのパラメータの一般的な設定方法

ステップ 1 [**Edit View**] アイコンをクリックします。

[Edit View] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 2 [Use Processor]フィールドで、このサービスが使用するメディア プロセッサの種類をクリックします。



(注) [MP and RM]オプションでは、Cisco MeetingPlace はサポートされません。

- サービスがビデオ会議コールの処理にローカルのメディア プロセッサだけを使用するには、[MP]をクリックします。
- サービスがビデオ会議コールの処理に Cisco IPVC MCU に登録された Cisco IPVC Enhanced Media Processor (EMP)を使用するには、[EMP]をクリックします。
- Cisco IPVC MCU で特定のビデオ会議の処理に使用するメディア プロセッサを Cisco IPVC MCU が選択できるようにするには、[Auto]をクリックします。



(注) メディア プロセッサを Cisco IPVC MCU に登録する方法については、『Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Administrator Guide, Version 3.2』を参照してください。

ステップ 3 [Video Picture Size]フィールドで、ほとんどのエンドポイントが使用すると予想されるビデオ形式をクリックします。

ステップ 4 最も大きな声で話している発言者にビデオを切り替えるように Cisco IPVC MCU を設定するには、[Enable voice activate]チェックボックスをオンにします。

ステップ 5 [Voice activate method]フィールドで [All see one]をクリックして、すべての参加者に現在の発言者が表示されるようにすることをお勧めします。

ステップ 6 発言していない参加者の自動切り替えを無効にするには、[Enable auto-switch]チェックボックスをオフにします。

ステップ 7 会議ビューのパラメータを保存して[Edit View]ダイアログボックスを閉じるには、[OK]をクリックします。

SCCP エンドポイントを使用する場合の特別な設定方法

SCCP エンドポイントは H.263 形式を必要とするため、特別なビュー設定が要求されます。ビューを設定するには、P 3-7 の「事前に設定されたサービス テンプレートの使用」の表をパラメータ設定のモデルとして使用するか、この項の該当する手順に従います。

ユーザが SCCP エンドポイントから参加する場合、Cisco IPVC MCU に MP カードしか装着されていない場合は、[Voice Activated]ビューしか使用できません。この場合、すべての参加者は、Cisco MeetingPlace の会議室で利用できる[View Active Speaker]オプションだけを使用できます。つまり、複数の参加者を同時に表示できなくなります。

単一の [Voice Activated] ビューの作成

- ステップ 1 デフォルトのビューでは、パラメータを正しく設定する必要があります。次のように設定されていることを確認します。

パラメータ	値
Initial Layout	参加者 1 人のレイアウト
Max Layout	参加者 1 人のレイアウト
Use Processor	MP
Format ([Video Schemes Settings] セクション)	H.263
その他のパラメータ	必要に応じて

- ステップ 2 [OK] をクリックします。

ユーザが SCCP エンドポイントから参加し、MP カードと EMP カードの両方が利用できる場合、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室で提供される [View Active Speaker] と [View Multiple People] の両方のオプションを参加者が使用できるようにするには、両方のビューが必要になります。[View Active Speaker] オプションは [Voice Activated] ビューに対応し、[View Multiple People] オプションは [Continuous Presence] ビューに対応しています。

2 つの独立したビューの作成

- ステップ 1 サービスで、[Views] ボタンをクリックして最初のビューを作成します。

- ステップ 2 このビューに対して次のパラメータを設定します。

パラメータ	値
Initial Layout	複数参加者のレイアウト(たとえば、参加者 4 人)
Max Layout	複数参加者のレイアウト(たとえば、参加者 4 人)
Use Processor	EMP
Format ([Video Schemes Settings] セクション)	H.263
その他のパラメータ	必要に応じて

- ステップ 3 [OK] をクリックします。

- ステップ 4 [Display all conference views] チェックボックスをオンにします。

- ステップ 5 [Add View] をクリックします。

ステップ 6 2 番目のビューに対して次のパラメータを設定します。

パラメータ	値
Initial Layout	参加者 1 人のレイアウト
Max Layout	参加者 1 人のレイアウト
Use Processor	MP
Format ([Video Schemes Settings]セクション)	H.263
その他のパラメータ	必要に応じて

ステップ 7 [OK]をクリックします。

ビデオ方式のパラメータの設定

ステップ 1 編集する [Video Settings Schemes]プロファイルを選択し、[Edit]ボタンをクリックします。

[Edit Video Scheme]ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 2 [Max bit rate] フィールドで、このサービスがサポートするビデオ帯域幅の最大値をクリックします。この数値は、Cisco MeetingPlace の帯域幅（およびネットワークで使用されている場合は Cisco CallManager の帯域幅）の設定以下でなければなりません。



(注) この帯域幅をサポートできないエンドポイントでは、ダイナミック スキームが許可されない限り、会議の音声しか受信できません。

ステップ 3 [Allow dynamic scheme]チェックボックスをオンにして、能力が低いエンドポイントが会議に参加したときに、Cisco IPVC MCU が会議のビデオ帯域幅を低い値に切り替えられるようにします。

- [Min bit rate]フィールドで、このパラメータがサポートする帯域幅の最小値をクリックします。

ステップ 4 ビデオ方式の変更を保存してこのダイアログボックスを閉じるには、[OK]をクリックします。

ステップ 5 会議ビューのパラメータを保存して[Edit View]ダイアログボックスを閉じるには、[OK]をクリックします。

サービスの保存

サービスを保存するには、[Service]ページの下部にある [OK]をクリックします。

Cisco MeetingPlace Audio Server の設定

Cisco MeetingPlace Video Integration をインストールする前に、次の作業を実行します。

変換テーブルの変更

-
- ステップ 1** Cisco MeetingPlace システムが IP 電話機だけをサポートしている場合、Cisco MeetingPlace Audio Server の変換テーブルを変更する必要はありません。

Cisco MeetingPlace Audio Server が PSTN インターフェイスと IP インターフェイスの両方に対応している、組織に Cisco MeetingPlace の認定技術者がいない場合、Cisco MeetingPlace Audio Server の変換テーブルを変更するには、Cisco MeetingPlace プロフェッショナル サービスにお問い合わせください。詳細については、シスコ テクニカル サポート 担当者にお問い合わせください。『*Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support*』を参照してください。

音声コーデックのネゴシエーションの優先順位の設定について

音質と帯域幅の使用は、Cisco MeetingPlace システムと Cisco IPVC システムで使用される音声コーデックによって部分的に決定されます。ビデオ エンドポイントのビデオ信号とその音声チャンネルは、使用可能な帯域幅を共有する必要があります。その結果、画質が向上するほど、音質が低下したり音声の送信が遅延したりすることがあります。

Cisco MeetingPlace Audio Server では、G.711 および G.729a の圧縮コーデックがサポートされています。リソースを最適な配分で音声とビデオに割り当てるには、`setipcodec` コマンドを使用して、Cisco MeetingPlace Audio Server で音声データ圧縮プロトコルを指定します。手順については、『*Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server, Release 5.3*』を参照してください。次のガイドラインを使用します。

- ビデオ用の帯域幅を広げるには、G.729 に最高の優先順位を割り当てます。
- 音質を向上させるには、G.711 に最高の優先順位を割り当てます。

G.729 のサポート

-
- ステップ 1** Cisco MeetingPlace Audio Server が G.729 だけを使用するように設定されている場合は、Cisco IPVC MCU が G.729 をサポートするように設定されていることを確認します。トランスコーダカードが必要な場合もあります。
-

Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway の設定

Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway は、Cisco MeetingPlace システムをネットワークに接続します。また、Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway は、Cisco MeetingPlace Audio Server を Cisco IPVC MCU と接続するコールを開始します。

- MeetingPlace システムで現在 Cisco IP テレフォニーがサポートされている場合は、Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway に他の変更を加える必要はありません。
- ネットワークに Cisco CallManager が含まれていて、Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway と Cisco CallManager がコールを相互にルーティングするように設定していない場合は、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Release 5.2.1*』の手順を参照してください。
- Cisco CallManager がネットワーク環境に含まれていない場合は、MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway を直接 H.323 ゲートキーパーに登録できます。Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway を H.323 ゲートキーパーとともに使用するよう設定する方法については、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Release 5.2.1*』を参照してください。正しく設定されている場合、ゲートキーパーのエンドポイント登録テーブルに H.323/SIP IP Gateway が表示されます。

Cisco MeetingPlace システムに複数の Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway が含まれていて、ゲートウェイがゲートキーパーに接続されている場合、各 MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway の E.164 番号は一意でなければなりません（ゲートウェイが Cisco CallManager に接続されている場合は、E.164 番号が一意である必要はありません）。

ステップ 1 Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway がまだネットワークに接続されていない場合は、この項の情報をを使用して、必要なすべてのコンポーネントを設定します。

ビデオ会議のロード バランシングの設定

多数のユーザに Cisco MeetingPlace を導入する場合は、複数の Cisco MeetingPlace Web Conferencing サーバをクラスタに設定できるので、会議はクラスタ内の複数のサーバで分散されます。ただし、Cisco MeetingPlace Video Integration をインストールできるのは、複数の Cisco MeetingPlace Web Conferencing サーバのうち 1 台だけです。ビデオ機能を含む会議は、そのサーバで開催する必要があります。

ビデオ ポートの使用がスケジュールされた会議は、Cisco MeetingPlace Video Integration がインストールされたサーバで自動的に開催されます。ただし、アドホック ビデオ会議を開催できるようにするには、ビデオ会議のスケジュールを許可するプロファイルを持つユーザによってスケジュールされた会議が、Cisco MeetingPlace Video Integration をインストールしているサーバで必ず主催されるように、Cisco MeetingPlace Web Conferencing を設定します。

Cisco MeetingPlace システムでロード バランシングが設定されている場合は、アドホック ビデオ会議を許可するようにシステムを設定します。



(注) ロード バランシングが含まれるクラスタ内のサーバに Cisco MeetingPlace Video Integration がインストールされていない場合でも、次の手順を実行します。

ステップ 1 システム管理者のパスワードを使用して、Cisco MeetingPlace Web Conferencing インターフェイスにサインインします。

ステップ 2 [Admin] をクリックします。

ステップ 3 [Site Properties] をクリックします。

ステップ 4 サイトの [Cisco MeetingPlace Web Conferencing Administration] ページで、[Allow Web Load Balancing in Ad Hoc Video Meetings] を [No] に設定します。

ロード バランシングの機能

Cisco MeetingPlace Video Integration がインストールされたサーバを会議の開始時に使用できない場合は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の [Site Administration] ページにある [Load Stats Poll Period] の値が 5 回経過した後に、会議が別のサーバにロールされます。[Load Stats Poll Period] パラメータのデフォルトの値は 1 分です。この状況では、ビデオ会議は不可能ですが、データと音声の会議機能は通常どおり使用できます。

このオプションを [No] に設定していない場合は、すべての Web 会議にロード バランシングが設定されます。Cisco MeetingPlace Video Integration がインストールされていない Web Conferencing サーバで開催された会議では、ビデオ会議機能は使用できません。

ロード バランシングの設定の概要については、『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3』を参照してください。

ビデオ エンドポイントのインストールと設定について

ビデオ エンドポイントとは、ビデオ映像と音声のキャプチャ、送信、受信、および表示を行うハードウェアとソフトウェアを指します。ビデオ エンドポイントは、次のいずれかになります。

- ルームベースのビデオ システム
- デスクトップ型のビデオ システム（たとえば、コンピュータに接続されたデジタル カメラ、個々のユーザの IP 電話機、コンピュータ画面に映像を表示するソフトウェアなど）

Cisco MeetingPlace Video Integration では、Cisco IPVC MCU version 3.5plus でサポートされているビデオ エンドポイントがすべてサポートされています。SCCP ビデオ エンドポイント（Cisco VT Advantage など）には、Cisco CallManager が必要です。ISDN ビデオ エンドポイントには、Cisco IPVC MCU 構成の一部として Cisco IPVC PRI Gateway が必要です。すべてのエンドポイントが、Cisco MeetingPlace Video Integration から独立して、Cisco IPVC MCU のビデオ会議に正常に参加できることが必要です。

Cisco MeetingPlace Audio Server が G.729 だけを使用するように設定されている場合は、Cisco IPVC MCU でこのプロトコルがサポートされていることを確認します。

エンドポイントが Cisco IPVC MCU と連携するように正しく設定され、製品に付属のマニュアルに従って音質を最適化するように設定されている場合は、Cisco MeetingPlace Video Integration に他の設定を行う必要はありません。音質を最適化するには、P 6-9 の「ビデオ会議中の問題」のトラブルシューティングの項のヒントを参照してください。

Cisco VT Advantage エンドポイントを設定するには、『Cisco VT Advantage Administration Guide』を参照してください。

SCCP エンドポイントは H.261 プロトコルをサポートしていません。したがって、SCCP エンドポイントで [View Multiple People] モードをサポートするのは、Cisco IPVC MCU に EMP プロセッサを搭載し、かつ P 3-9 の「会議ビューのパラメータの設定」の手順に従って [Continuous Presence] をサポートするように Cisco IPVC MCU のビューを設定している場合だけです。

(オプション) Cisco MeetingPlace for Outlook の設定

Cisco MeetingPlace システムに Cisco MeetingPlace for Outlook が含まれている場合は、この項の作業を実行します。それ以外の場合は、この項をスキップします。

Cisco MeetingPlace for Outlook では、ユーザが会議に招待されたときに受信する会議通知が生成されます。この通知は、目的に応じてカスタマイズできるテンプレートを基に生成されます。

会議通知のテンプレートのカスタマイズについては、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3*』を参照してください。

システムに Cisco MeetingPlace Video Integration が含まれている場合、ビデオ固有の 3 種類のテンプレートが使用されます。デフォルトでは、これらのテンプレートには、IP および ISDN のビデオエンドポイントのダイヤルイン番号に対応するパラメータが含まれています。テンプレートに従うと、ユーザはまず Web 会議に参加し、次にビデオ会議または音声会議に参加することになります (これが最適な方法です。Web 会議内からビデオ会議に参加するユーザは、Web 会議の会議室でビデオの制御や機能に完全にアクセスできます)。

該当しない情報を削除したり、ユーザがビデオを含む会議に参加するために使用できる特別な手順や情報を追加したりすることができます。

-
- ステップ 1 ビデオ固有の 3 種類の通知テンプレートを検査して、ビデオユーザが必要とする情報がデフォルトで含まれているかどうかを確認します。
- ステップ 2 含まれていない場合は、ビデオ関連の会議通知をカスタマイズします。
-

Cisco CallManager の設定

Cisco CallManager が環境に含まれていない場合は、この項をスキップし、P 3-14 の「[Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway の設定](#)」の説明に従い、H.323 ゲートキーパーを介して Cisco MeetingPlace と相互にコールをルーティングします。

Cisco CallManager が環境に含まれている場合は、ビデオ会議と Cisco MeetingPlace の統合に必要なコンポーネント間でコールをルーティングするように Cisco CallManager を設定します。

Cisco MeetingPlace Video Integration と連携するように Cisco CallManager を設定するには、さまざまな方法があります。たとえば、『*Cisco IP Video Telephony Solution Reference Network Design*』のガイドラインに従って、すべてのコールをルーティングするように Cisco CallManager を設定することができます。また、この項の例に従って、H.323 コールをルーティングするようにゲートキーパーを設定することもできます。最適なソリューションは、ご使用のネットワークの環境と要件によって異なります。ネットワークに最適な Cisco CallManager の設定に関する判断については、このマニュアルには記載されていないため、Cisco CallManager のマニュアルを参照するか、シスコテクニカルサポート担当者にお問い合わせください。『*Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support*』を参照してください。



- (注) Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway が Cisco CallManager とともに使用するように設定されていない場合は、その設定手順について『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway, Release 5.2.1*』を参照してください。
-

コールのルーティングにゲートキーパーを使用する場合に Cisco CallManager をセットアップするには、次の一般的な手順を実行します。

-
- ステップ 1 Cisco IPVC MCU に関連付けられているゲートキーパーを指すゲートキーパー デバイスを作成します。
- ステップ 2 Cisco IPVC MCU の H.225 (ゲートキーパー制御) トランクを作成します。
- ステップ 3 Cisco IPVC MCU の H.225 (ゲートキーパー制御) トランクにコールをルーティングするためのルートパターンを作成します。
-

設定値の収集

-
- ステップ 1 次の情報をメモします。
- Cisco IPVC MCU で指定した Cisco MeetingPlace の Web 会議のサービス コード
 - Cisco IPVC MCU の IP アドレスまたはホスト名
 - H.323 ゲートキーパーの IP アドレスまたはホスト名
-

H.323 ゲートキーパーの追加

-
- ステップ 1 [Cisco CallManager Administration] インターフェイスを起動してログインします。
- ステップ 2 [Device] > [Gatekeeper] を選択します。
- ステップ 3 [Add a New Gatekeeper] をクリックします。
- ステップ 4 次のオプションを入力します。

フィールド	値
Host Name / IP Address	Cisco IPVC MCU が登録されるゲートキーパーの IP アドレス
Description	このゲートキーパーを識別する名前
Enable Device	チェックボックスをオンにする
その他のオプション	環境に対応した値

- ステップ 5 [Insert] をクリックします。
-

Cisco IPVC MCU の H.225 トランクの作成

ステップ 1 [Cisco CallManager Administration] のメニュー バーで、[Device] > [Trunk] を選択します。

ステップ 2 [Add a New Trunk] をクリックします。

ステップ 3 [Trunk Type] で、[H.225 (Gatekeeper Controlled)] を選択します。

ステップ 4 [Next] をクリックします。

ステップ 5 次のオプションを入力します。

フィールド	値
Device Name	Cisco IPVC MCU の IP アドレス
Description	このトランクを識別する名前
Retry Video Call as Audio	チェックボックスをオンにする
Wait for Far End H.245 Terminal Capability Set	チェックボックスをオンにする
Gatekeeper Name	Cisco IPVC MCU が登録されるゲートキーパーの IP アドレス
Terminal Type	Gateway
Technology Prefix	Cisco CallManager にコールをルーティングするプレフィクスまたはパターン
その他のパラメータ	環境に対応した値

ステップ 6 [Insert] をクリックします。

ステップ 7 [OK] をクリックします。

ステップ 8 [Reset Trunk] をクリックします。

Cisco IPVC MCU にコールをルーティングするためのルート パターンの追加

ステップ 1 [Cisco CallManager Administration] のメニュー バーで、次のいずれかの操作を行います。

- Cisco CallManager 4.0 で、[Route Plan] > [Route Pattern/Hunt Pilot] を選択する。
- Cisco CallManager 4.1 で、[Route Plan] > [Route / Hunt] > [Route Pattern] を選択する。

ステップ 2 [Add a New Route Pattern/Hunt Pilot] をクリックします。

ステップ 3 次のオプションを入力します。

パラメータ	値
Route Pattern/Hunt Pilot	Cisco IPVC MCU で定義した MeetingPlace のサービス プレフィクスと後続の感嘆符 (!)
Description	Cisco IPVC MCU の MeetingPlace サービス、またはこのルートパターンを説明する別の名前
Cisco CallManager 4.0 の場合 : Gateway or Route/Hunt List	作成した H.225 トランク (ゲートキーパー制御) の IP アドレスまたはホスト名
Cisco CallManager 4.1 の場合 : Gateway or Route List	
Provide Outside Dialtone	このチェックボックスをオフにする
その他のパラメータ	環境に対応した値

ステップ 4 [Insert] をクリックします。

DMZ 構成を使用した Video Integration のインストール準備

DMZ とは、企業ネットワークで企業ファイアウォールの外側にあるエリアのことです。セキュリティを損なわずに外部の参加者に Cisco MeetingPlace の Web 会議への参加を許可するには、Cisco MeetingPlace Web Conferencing サーバをファイアウォールの内側に導入し、Web Conferencing サーバを DMZ に導入します。このような設定は、Segmented Meeting Access (SMA) 構成と呼ばれます。詳細については、『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3』を参照してください。

Cisco MeetingPlace Video Integration は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing がインストールされている 1 台のサーバだけにインストールする必要があります。

- ファイアウォールの内側にインストールした場合、ビデオ会議に参加できるのは内部の参加者だけになります。
- DMZ にインストールした場合は、外部の参加者も参加できます。



(注)

- Cisco MeetingPlace Video Integration を DMZ にインストールした場合、会議のスケジュール担当者は、内部の参加者だけが参加する場合でも、ビデオを含むすべての会議に対するインターネット アクセスを許可する必要があります。Web 会議とビデオ会議は DMZ のサーバで開催されます。
- Cisco MeetingPlace Video Integration を DMZ 構成のファイアウォールの内側にインストールした場合、ファイアウォールの外側にいる Web 会議の参加者も含まれている会議では、ユーザはビデオ会議機能を使用できません。
- 他にも注意事項があります。P 4-12 の「DMZ 構成およびビデオ会議に関する重要な情報」を参照してください。

- ステップ 1** この項の情報を使用して、Cisco MeetingPlace Video Integration をファイアウォールの内側にインストールするか、DMZ にインストールするかを決定します。
- ステップ 2** Cisco IPVC MCU がファイアウォールの内側にインストールされている環境で Cisco MeetingPlace Video Integration を DMZ にインストールする場合、Cisco MeetingPlace Video Integration を Cisco IPVC MCU に接続するには、ファイアウォール経由で TCP ポート 3336 を開きます。

インストール値の収集

Cisco MeetingPlace Video Integration をインストールするには、次の情報が必要です。

項目	値
Cisco IPVC MCU の IP アドレスまたはホスト名。	-----
Cisco IPVC MCU で Cisco MeetingPlace の Web 会議を一意に識別する専用のサービス プレフィクス。この番号には、Cisco CallManager や H.323 ゲートキーパーに登録されている他のルーティングパターンと一致しない番号を使用する必要があります。	-----
Cisco IPVC MCU のオペレータ アカウントまたは管理者アカウントのユーザ名とパスワード。Cisco MeetingPlace Video Integration でビデオ会議の制御に使用されます。	----- -----
Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway に割り当てられた E.164 番号。 同じ Cisco MeetingPlace Audio Server に複数の Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway が接続されている場合、IP Gateway にそれぞれ一意の E.164 番号が必要です。E.164 番号は、セミコロン (;) で区切って 5 つまで指定できます。	-----

Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール

- ステップ 1** この章に記載されている前提条件の作業がすべて完了していることを確認します。
- ステップ 2** Cisco MeetingPlace が使用中でないことを確認します。Cisco MeetingPlace Video Integration のインストールによって、Cisco MeetingPlace Web Conferencing のマスター サービスとすべての下位サービスが停止します。
- ステップ 3** Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール先のサーバに Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3 がインストールされていることを確認します。
- ステップ 4** Cisco IPVC MCU をネットワークで使用できる (IP アドレス経由で到達可能である) ことを確認します。
- ステップ 5** Cisco MeetingPlace Video Integration の Setup.exe を実行し、メッセージに従います。このとき、P 3-20 の「インストール値の収集」で収集した値を入力します。
- ステップ 6** インストールが完了すると、すべての Cisco MeetingPlace サービスが自動的に再起動します。[Services] ウィンドウの [Refresh] ボタンをクリックすると、表示がアップデートされます。
- ステップ 7** システムが正しく設定されているかどうかを確認するには、コンピュータ画面の下部のシステムトレイにある Cisco MeetingPlace のアイコン (オレンジ色のドア) をクリックして、[Eventlog] を選択します。

インストールが正しく設定されている場合は、次のメッセージが表示されます。

```
Cisco MeetingPlace Video Integration -> CConferenceTechnologyProvider::initialize()
STATUS: Cisco MeetingPlace Video Integration READY to receive requests from MPAgent.
```

- ステップ 8** 次のパラメータを設定します。

パラメータ	参照先
ビデオの電話番号 (Cisco IPVC システムが ISDN エンドポイントをサポートしている場合)	表 4-1 (ビデオ会議のアクセス情報)
フロータポートとオーバーブックポート	ポートパラメータの設定について (P.4-8)
ユーザが会議のためにスケジュールできるビデオポートの最大数	表 4-2 (会議およびポートのパラメータ)
会議ごとにスケジュールできるビデオポートのデフォルトの数	表 4-2 (会議およびポートのパラメータ)
ユーザプロファイル	ビデオで使用するユーザプロファイルの管理について (P.4-11)

Cisco MeetingPlace Video Integration のアンインストール

Cisco MeetingPlace Video Integration をアンインストールするには、Control Panel の Add/Remove Programs を使用するか、インストーラを再実行します。

アンインストールのプロセスで、Cisco MeetingPlace Web Conferencing サービスとその他の Cisco MeetingPlace サービス (Cisco MeetingPlace Video Integration サービスを含む) は、自動的に停止します。

Cisco MeetingPlace Web Conferencing と Cisco MeetingPlace Video Integration を再インストールする予定がある場合は、先に Cisco MeetingPlace Video Integration をアンインストールしてから Cisco MeetingPlace Web Conferencing をアンインストールします。

アンインストールが完了すると、すべてのサービスが自動的に再起動します。



Cisco MeetingPlace Video Integration の設定および管理

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco MeetingPlace MeetingTime ソフトウェア アプリケーションについて \(P.4-1\)](#)
- [ビデオ会議のアクセス情報について \(P.4-2\)](#)
- [システムの設定内容の変更について \(P.4-3\)](#)
- [ビデオ会議リソースの管理について \(P.4-5\)](#)
- [ビデオで使用するユーザ プロファイルの管理について \(P.4-11\)](#)
- [ビデオ会議の統計情報について \(P.4-14\)](#)

Cisco MeetingPlace MeetingTime ソフトウェア アプリケーションについて

Cisco MeetingPlace Video Integration に関連する一部のパラメータは、Cisco MeetingPlace MeetingTime (Cisco MeetingPlace Audio Server 用の PC ベースのユーティリティ) で表示または変更できます。MeetingTime の詳細については、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』を参照してください。

「ビデオ」と指定した MeetingTime のパラメータだけが、ビデオ会議に適用されます。

ビデオ会議のアクセス情報について

各ビデオ会議は、次の 2 つの番号で構成されるコードで識別されます。

- Cisco MeetingPlace の Web 会議専用の Cisco IPVC MCU で定義したサービスのサービス プレフィクス
- Cisco MeetingPlace の会議 ID

たとえば、Cisco MeetingPlace のサービス プレフィクスが 67 で、Cisco MeetingPlace の会議 ID が 1234 の場合、対応するビデオ会議の識別番号は 671234 です。Cisco CallManager およびゲートキーパーは、この番号を使用して、ネットワーク経由で参加者を Cisco IPVC MCU にルーティングします。次に、ゲートキーパーまたは Cisco IPVC MCU は、この番号の会議 ID の部分を使用して、発信者を適切な会議に誘導します。

ISDN ビデオ エンドポイントのユーザは、通常の E.164 番号を使用してダイヤルインし、IVR プロンプトが表示されるまで待機してから、参加する会議のコードを入力します。

表 4-1 ビデオ会議のアクセス情報

パラメータ	値	指定場所
Video Service Code	<p>Cisco IPVC MCU で作成された専用の MeetingPlace サービスに割り当てられるサービス プレフィクス。</p> <p>MeetingTime の Video Service Code は、Cisco IPVC MCU で定義された MeetingPlace のサービス プレフィクスと一致している必要があります。</p>	<p>サービス プレフィクスは、Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール時にユーザが指定します。</p> <p>サービス プレフィクスを表示するには、次の操作を行います。</p> <p>MeetingTime で、[Configure] タブをクリックし、[COMPANY SPECIFIC INFORMATION] ヘッダーを探して [Usage Parameters] をクリックします。次に、右側のパネルで [Video Service Code] までスクロールします。</p> <p>Cisco IPVC MCU でこの値を変更すると、MeetingTime の値も自動的にアップデートされます。会議をスケジュールした後に変更を加えることはお勧めしません。</p>
Main video phone number	<p>ISDN ビデオ エンドポイントをサポートするように Cisco IPVC MCU システムが設定されている場合、それらのエンドポイントから Cisco IPVC MCU にダイヤルインするときに使用する電話番号を入力します。この番号は、Cisco IPVC MCU に関連付けられた Cisco IPVC PRI Gateway に割り当てられる DID 番号です。</p> <p>詳細については、Cisco IPVC PRI Gateway のマニュアルを参照してください。</p>	<p>MeetingTime で、[Configure] タブをクリックし、[SYSTEM CONFIGURATION] ヘッダーを探して [Telephony Access] をクリックします。次に、右側のパネルで [Video Information] セクションまでスクロールします。</p>

表 4-1 ビデオ会議のアクセス情報（続き）

パラメータ	値	指定場所
1st alternate video phone number	現在、Cisco MeetingPlace はこれらのフィールドを使用していません。	MeetingTime で、[Configure] タブをクリックし、[SYSTEM CONFIGURATION] ヘッダーを探して [Telephony Access] をクリックします。次に、右側のパネルで [Video Information] セクションまでスクロールします。
2nd alternate video phone number		

システムの設定内容の変更について

Cisco MeetingPlace Video Integration のコンポーネントは、連携するように設定されています。各コンポーネントの設定によって、コンポーネント間の通信が可能になります。1 つのコンポーネントで設定を変更した場合は、他のコンポーネントで入力した該当の設定も変更する必要があります。

Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール時に入力した値を変更する必要がある場合、またはシステムの実行に必要な他のいずれかのコンポーネント部分の設定内容を変更する必要がある場合は、次の項を参照してください。

Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール時に入力した値の変更

Cisco MeetingPlace Video Integration をインストールしたときに、Cisco MeetingPlace Video Integration の実行に必要なコンポーネントの設定をすでに指定しています。

これらの設定を変更するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cisco MeetingPlace Web Conferencing マスター サービスを停止します。Cisco MeetingPlace Video サービスが自動的に停止します。
- ステップ 2** Windows の [Control Panel] で、[**MeetingPlace Gateways**] をダブルクリックします。
- ステップ 3** [**Video**] タブをクリックします。
- ステップ 4** 次のいずれかの設定を変更します。
- Service Code (MeetingPlace の Web 会議用に Cisco IPVC MCU で指定されたサービス プレフィクス)
 - Tracing Level (ロギングの冗長性)
 - MCU IP Address
 - MCU User Account (オペレータ レベルまたは管理者レベルのアカウント)
 - MCU User Password (ユーザ アカウントのパスワード)
 - Voice Link E.164
- ステップ 5** [**OK**] をクリックします。
- ステップ 6** Cisco MeetingPlace Web Conferencing マスター サービスを再起動します。Cisco MeetingPlace Video サービスが自動的に再起動します。
-

他のコンポーネントの設定の変更

Cisco MeetingPlace Video Integration に必要な他のコンポーネント（Cisco IPVC MCU や Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway など）の設定を変更するには、次の手順を実行します。

-
- Step 1** システムが使用されていない時間帯に変更を行うよう計画を立てます。
- ステップ 2** Cisco IPVC MCU の設定の変更により、使用可能な会議またはポートの数が減少する場合は、すでにスケジュールされている会議を開催するのに十分なリソースが確保されていることを確認します。P 4-14 の「ビデオ会議の統計情報について」を参照してください。
- ステップ 3** Cisco MeetingPlace Web Conferencing サービスを停止します。この操作により、Video Integration サービスも停止します。
- ステップ 4** 第 3 章「Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール」の該当する項、およびこれらのコンポーネントのマニュアルに従って、他のコンポーネントに変更を加えます。
- ステップ 5** 次のいずれかを変更した場合、P 4-3 の「Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール時に入力した値の変更」の手順に従って、Cisco MeetingPlace Video Integration で対応する変更を行います。
- Cisco MeetingPlace の Web 会議を識別するために Cisco IPVC MCU で指定したサービス プレフィクス
 - MCU IP アドレス
 - MCU ユーザ アカウント
 - MCU ユーザ パスワード（ユーザ アカウントのパスワード）
 - Voice Link E.164 番号
- ステップ 6** Cisco MeetingPlace Web Conferencing サービスを再起動します。この操作により、必要なサービスがすべて再起動します。
-

ビデオ会議リソースの管理について

ビデオ会議のキャパシティ(同時に使用できるビデオ会議の数とポートの総数)は、Cisco IPVC MCU のハードウェアおよび設定によって決まります。これらの設定の詳細については、『*Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Administrator Guide, Version 3.2*』および『*Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Release Notes for Release 3.5*』を参照してください。

ビデオ会議リソースの可用性には、いくつかの要因が影響します。ポートおよび会議の可用性を管理するには、次のいずれかまたは複数の操作を行います。

- リソース集中型の機能を使用しないように Cisco IPVC MCU の MeetingPlace サービスを設定する。詳細については、『*Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Administrator Guide, Version 3.2*』および『*Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Release Notes for Release 3.5*』を参照してください。たとえば、[Settings] > [Basics] ページで、[Number of SCCP ports] を 0 に設定します。
- 使用可能なビデオ フロータ ポート の数を変更する。P 4-8 の「[ビデオ フロータ ポート の数の設定について](#)」を参照してください。
- 使用可能なビデオ オーバブック ポート の数を変更する。P 4-9 の「[\(オプション\) オーバブック ポート の数の設定](#)」を参照してください。
- ユーザがスケジュールできるビデオ ポート のデフォルト数と最大数を変更する。P.4-6 の表 4-2 を参照してください。
- ビデオ会議リソースへのユーザ アクセスを制限する。P 4-11 の「[ビデオで使用するユーザ プロファイルの管理について](#)」を参照してください。
- 参加者の接続のデフォルト帯域幅を変更する。P 4-11 の「[ビデオで使用するユーザ プロファイルの管理について](#)」を参照してください。

表 4-2 は、会議およびポートのパラメータを示しています。MeetingTime の詳細については、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』を参照してください。

表 4-2 会議およびポートのパラメータ

パラメータ	値	指定場所
同時に開催できる会議の最大数。	この数は、Cisco IPVC MCU の設定によって異なります。	<p>この数は Cisco IPVC MCU から動的に取得されます。MeetingTime では変更できません。</p> <p>値を表示するには、次の操作を行います。</p> <p>MeetingTime で、[Configure] タブをクリックし、[Server Configuration] をクリックします。次に、右側のパネルで [Video conferences] までスクロールします。</p> <p>Cisco IPVC MCU のハードウェアおよび設定については、『<i>Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Administrator Guide, Version 3.2</i>』および『<i>Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Release Notes for Release 3.5</i>』を参照してください。</p> <p>Cisco IPVC MCU の設定を変更して使用可能なビデオ会議の数を増やした場合、変更時にセッション中の会議がすべて終了するまで、このパラメータの値はアップデートされないことがあります。</p>
Cisco MeetingPlace ビデオ会議で使用可能なポートの総数。	<p>この値は、Cisco IPVC MCU のハードウェアおよび機能設定によって異なります。</p> <p>Cisco IPVC MCU の MeetingPlace サービスに対してリソース集中型の機能を選択すると、使用可能なビデオ会議の数が減少する場合があります。</p>	<p>この数は Cisco IPVC MCU から動的に取得されます。MeetingTime では変更できません。</p> <p>値を表示するには、次の操作を行います。</p> <p>MeetingTime で、[Configure] タブをクリックし、[Server Configuration] をクリックします。次に、右側のパネルで [Video floater ports] までスクロールします。</p> <p>Cisco IPVC MCU のハードウェアおよび設定については、『<i>Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Administrator Guide, Version 3.2</i>』および『<i>Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Release Notes for Release 3.5</i>』を参照してください。</p>

表 4-2 会議およびポートのパラメータ (続き)

パラメータ	値	指定場所
ユーザが会議のためにスケジュールできるビデオポートの最大数。	<p>事前にスケジュールできるポートの最大数。2 以上の数値です。事前にスケジュールできるポートの数は、ポートの総数から、フロータポートとして指定されているポートの数を減算し、それにオーバーブックポートの数を加算した数です。</p> <p>このフィールドに大きな数値を入力すると、ポートと同時会議のアベイラビリティが制限される場合があります。</p> <p>0 を入力すると、ビデオ会議をスケジュールできません。</p>	MeetingTime で、[Configure] タブをクリックし、[Scheduling Parameters] をクリックします。次に、右側のパネルで [Video meetings] ヘッダーの [Max ports per meeting] フィールドまでスクロールします。
<p>各会議にスケジュールするビデオポートのデフォルト数。</p> <p>この数値は、デフォルトで [# of video callers] フィールド (ビデオ会議のスケジュールを許可するプロファイルを持つユーザのスケジューリングフォームのフィールド) に表示されます。ユーザが会議をスケジュールするときこの値を変更しない場合、その会議には、このパラメータで指定したビデオポート数がスケジュールされます。</p>	<p>システムでスケジュールできるビデオポートの最大数。0 (ゼロ) または 2 以上の数値です。事前にスケジュールできるポートの数は、ポートの総数から、フロータポートとして指定されているポートの数を減算し、それにオーバーブックポートの数を加算した数です。</p> <p>このパラメータのデフォルト値は 0 です。</p> <p>1 は指定しないでください。Cisco MeetingPlace では、ビデオポートが 1 個指定された会議はスケジュールできません。</p> <p>このフィールドに大きな数値を入力すると、ポートと同時会議のアベイラビリティが制限される場合があります。</p>	MeetingTime で、[Configure] タブをクリックし、[Scheduling Parameters] をクリックします。次に、右側のパネルで [Video meetings] ヘッダーの [Default # of ports to schedule] フィールドまでスクロールします。
<p>システムのビデオフロータポートの数。</p> <p>ビデオ会議のフロータポートは、音声のフロータポートとは異なります。ビデオ会議のフロータポートについては、P 4-8 の「ビデオフロータポートの数の設定について」を参照してください。</p>	<p>この値には、0 を指定できません。次の値の合計値になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最低限必要なフロータポートの数 使用するフロータポートの数 <p>P 4-8 の「ビデオフロータポートの数の設定について」を参照してください。</p>	MeetingTime で、[Configure] タブをクリックし、[Server Configuration] をクリックします。次に、右側のパネルで [Video floater ports] までスクロールします。

表 4-2 会議およびポートのパラメータ (続き)

パラメータ	値	指定場所
システムのビデオ オーバーブック ポートの数。 オーバーブック ポートの詳細については、P 4-9 の「(オプション) オーバーブック ポートの数の設定」を参照してください。	デフォルト値は 0 です。 オーバーブック ポートの数を調整する場合は、リソースを最適化するために、P 4-9 の「(オプション) オーバーブック ポートの数の設定」の数式を使用することをお勧めします。	MeetingTime で、[Configure] タブをクリックし、[Server Configuration] をクリックします。次に、右側のパネルで [Video overbook ports] までスクロールします。

ポート パラメータの設定について

Cisco MeetingPlace Video Integration が起動して実行中になった後に、ユーザがビデオ会議を含む会議のスケジュールを開始する前に、次の値を設定する必要があります。

- フロータ ポートの数
- オーバーブック ポートの数

システムのフロータ ポートおよびオーバーブック ポートの最適な数を決定するには、次の項の情報と上記の表の値を使用してください。

ビデオ フロータ ポートの数の設定について

フロータ ポートとは、事前にスケジュールできないポートのことです。システムで使用できるポートの総数のうちの設定可能なサブセットです。ビデオ フロータ ポートと音声フロータ ポートでは、使用方法が異なります。

Cisco MeetingPlace Audio Server と Cisco IPVC MCU 間のリンクを確立したり、スケジュールされていない会議や参加者を受け入れたり、会議を延長したりするために使用可能なビデオ ポートを探す場合、Cisco MeetingPlace は、スケジュールが許可されている使用可能なビデオ会議ポートを最初に使用します。スケジュールが許可されている使用可能なビデオ会議ポートがない場合、または追加のポートが必要な場合に、Cisco MeetingPlace は使用可能なビデオ フロータ ポート (ある場合) を使用します。

設定するビデオ フロータ ポートの総数には、次の値が含まれます。

- Cisco MeetingPlace Video Integration が機能するために最低限必要なビデオ フロータ ポートの数
- 会議の参加者が先着順で使用できるオプションのビデオ フロータ ポートの数

最低限必要なビデオ フロータ ポートの数の設定

ビデオ会議の音声ストリームを Cisco MeetingPlace 音声会議にリンクするために、各ビデオ会議には 1 つの専用ビデオ ポートが必要になります (このポートは、ビデオ フロータ ポートのプールから取得される場合があります)。したがって、割り当てるフロータ ポート数を 0 にすることはできません。割り当てるフロータ ポートの最小数は、システムで使用できるビデオ会議とポートの数によって異なります。

システムでビデオ会議がポートよりも少ない場合、最低限必要なフロータ ポート数は、次に示す値のうち少ない方の値になります。

- システムのビデオ ポートの総数を 3 で除算し、整数に切り上げた値
- Cisco IPVC MCU で使用可能なビデオ会議の最大数

たとえば、Cisco IPVC MCU のポート数が 24 で、同時会議数が 10 の場合、最低限必要なフロータポートの数は $24/3$ (つまり 8) です。この値は、ビデオ会議の最大数である 10 より小さいので、最低限必要なポートの数は 8 になります。

この計算により、システムの柔軟性を最大限に引き出すと同時に、特定の会議でビデオ会議が使用できない事態を最小限に抑えることができます。

この計算で求められた数のフロータポートは、ビデオ会議の参加者には使用できません。そのため、標準的なフロータポート機能の場合は、フロータポートを追加してください。

ステップ 1 この項の情報を使用して、最低限必要なビデオ フロータ ポートの数を計算します。

ステップ 2 次の項の「[オプションのビデオ フロータ ポートの追加](#)」の手順に進みます。

オプションのビデオ フロータ ポートの追加

最低限必要なビデオ フロータ ポートのほかに、セッション中の会議の参加者が先着順で使用できるフロータポートを含めることができます。これらのビデオ フロータ ポートは、音声会議のフロータポートに類似しています。

最低限必要なフロータポートの数に、使用するフロータポートの数を追加してください。ただし、ビデオ フロータポートの総数は、使用可能なビデオ ポートの総数を超えることはできません。

ステップ 1 この項の情報を使用して、ビデオ フロータ ポートの総数を計算します。

ステップ 2 MeetingTime の [Video floater ports] フィールドに、ビデオ フロータ ポートの数を入力します。[Configure] タブをクリックし、[Server Configuration] をクリックします。次に、右側のパネルで [Video floater ports] までスクロールします。

ステップ 3 次の項の「[\(オプション\) オーバーブック ポートの数の設定](#)」の手順に進みます。

(オプション) オーバーブック ポートの数の設定

オーバーブック ポートにより、ユーザは実際に使用可能なポート数より多くの会議参加者をスケジューリングできます。一般的にすべての招待者が会議に参加するとは限らず、予約済みのポートが無駄になる可能性があるため、オーバーブック ポートは便利です。ビデオ オーバーブック ポートは、音声オーバーブック ポートと類似していますが、別のものです。ビデオ オーバーブック ポートの最適な数を決定するには、音声ポートの最適な数を決定する場合とは異なる計算が必要です。

ビデオ オーバーブック ポートの数は、使用可能なビデオ会議ポートの総数の約 20% に設定することをお勧めします。システムで使用可能なビデオ会議およびポートを最適に使用するには、次の数式に従ってオーバーブック ポートの数を決定します。

$$\text{Mod} [(\text{Cisco IPVC MCU で使用可能なビデオ ポートの総数} - \text{ビデオ フロータ ポートの総数} + \text{ビデオ オーバーブック ポート数}) / \text{Cisco IPVC MCU で使用可能なビデオ会議の総数}] = 0$$

つまり、Cisco IPVC MCU で使用可能なビデオ ポートの総数から、指定したフロータ ポートの総数を減算し、選択したオーバーブック ポートの数を加算した数は、Cisco IPVC MCU で使用可能な会議の総数で割り切れる必要があります。この計算を実行した結果が整数ではない場合は、余りがなくなるまでオーバーブック ポートの数を増加または減少させてください。

値の例を表 4-3 に示します。

表 4-3 オーバーブック ポートの計算値の例

変数	例 1	例 2	例 3
使用可能なビデオ ポートの総数	24	24	24
ビデオ フロータ ポート数(最低限必要なビデオ フロータ ポートの数にオプションの追加ビデオ フロータ ポート数を加算)	8	8	8
ビデオ オーバーブック ポート数の見積り	6	4	14
使用可能なビデオ会議の総数	10	10	10
計算結果は整数ですか	いいえ	はい	はい
ビデオ オーバーブック ポート数は最適ですか	いいえ	はい	はい

例 1 の値を使用した場合、計算結果は $(24-8+6)/10$ 、つまり 2.2 となるため、オーバーブック ポート数として 6 は最適な値ではありません。例 2 のとおり、オーバーブック ポート数の見積りを 2 減算すると、結果は整数である 2 になります。そのため、オーバーブック ポートの最適な数は 6-2、つまり 4 です。オーバーブック ポートを増加する場合は、例 3 のとおりオーバーブック ポート数の見積り数を 8 ずつ増加するため、オーバーブック ポートの最適な数は $6+8$ 、つまり 14 になります。フロータ ポート数を変更してから、この計算を再試行することもできます。

フロータ ポート数を変更した場合、また、この項の指示に従ってビデオ会議リソースを最大限に利用するために、オーバーブック ポート数を設定した場合は、オーバーブック ポートの最適な数を再計算してください。

0 より大きい数のビデオ オーバーブック ポートを指定した場合、会議を正常にスケジュールできたとしても、システムは会議でビデオ ポートが使用できることを保証できません。ただし、この項の数式を使用してオーバーブック ポート数を設定しておけば、そのような事態はほとんど発生しません。

ステップ 1 この項の情報を使用して、ビデオ オーバーブック ポート数を計算します。

ステップ 2 MeetingTime の [Video overbook ports] フィールドに、ビデオ オーバーブック ポート数を入力します。[Configure] タブをクリックし、[Server Configuration] をクリックします。次に、右側のパネルで [Video overbook ports] までスクロールします。

ビデオで使用するユーザ プロファイルの管理について

ビデオ会議リソースを管理し、ユーザ向けにビデオ会議の処理を簡素化するには、ユーザおよびグループのプロファイル設定を使用します。

ユーザをグループに割り当てると、特権やパラメータを簡単に割り当てることができます。この項の表を使用して、MeetingTime アプリケーションに設定を入力します。

ビデオ リソースの使用を管理するには、次の操作を行います。

- ビデオ会議をスケジュールできるユーザとグループを制御する。ビデオ会議への参加に関する制限はありません。
- プロファイルを持つユーザとグループにデフォルトの帯域幅を割り当てることにより、帯域幅の使用に関する優先順位を設定する。

デフォルトでは、ユーザ プロファイルでビデオ会議は無効になっており、ビデオ エンドポイントの帯域幅は最大値の 384 kbps に設定されています。

表 4-4 にグループの設定、表 4-5 に個々のプロファイル ユーザの設定を示します。

表 4-4 各グループで使用可能な設定

項目	値	MeetingTime での設定場所
Allow Video Scheduling?	No Yes	特定のユーザグループ プロファイルの [Restrictions] セクション
Endpoint Bandwidth この値は、ユーザが割り当てられているグループのデフォルトの帯域幅です。 帯域幅の詳細については、P 4-13 の「ビデオ会議の帯域幅について」を参照してください。	128K 256K 384K (デフォルト)	特定のユーザグループ プロファイルの [Video Meetings] セクション

表 4-5 各ユーザの設定

項目	値	設定場所
Allow video scheduling? 会議のスケジュールリングを許可されているユーザが会議をスケジュールするときに、ビデオ スケジュールリングのオプションが表示されます。許可されていない場合は、スケジュールリング フォームにビデオ スケジュールリングのオプションは表示されません。	No Yes Group Dflt (Group Default)	ユーザ プロファイルの [Restrictions] セクション
Endpoint Bandwidth このユーザのデフォルトのビデオ エンドポイント帯域幅。 帯域幅の詳細については、P 4-13 の「ビデオ会議の帯域幅について」を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> • 128 kbps • 256 kbps • 384 kbps • Group Dflt(Group Default : ユーザの割り当て先のグループに設定されている帯域幅) デフォルトの帯域幅は、384kbps です。	ユーザ プロファイルの [Video Meetings] セクション

表 4-5 各ユーザの設定 (続き)

項目	値	設定場所
Endpoint Address Cisco MeetingPlace がアウトダイヤルしてユーザをビデオ会議に参加させるデフォルトのビデオ エンドポイント アドレス。 このパラメータに値を入力すると、ユーザはビデオ会議に簡単に参加できます。	H.323 または SCCP エンドポイントの場合： ユーザのエンドポイントの E.164 電話番号を入力します。 ISDN エンドポイントの場合： ビデオ エンドポイントの E.164 電話番号の前に、Cisco IPVC PRI Gateway のサービス コードを入力します。たとえば、ISDN ビデオ エンドポイントの電話番号が 1-800-555-0101 で、そのエンドポイントに最適なコール タイプのサービス プレフィックスが 89 の場合は、8918005550101 と入力します。詳細については、Cisco IPVC PRI Gateway のマニュアルを参照してください。	ユーザ プロファイルの [Video Meetings] セクション

DMZ 構成およびビデオ会議に関する重要な情報

ユーザが即時会議または予約不要の会議をスケジュールすると、ユーザ プロファイルの設定により、その会議で Web 会議へのインターネット アクセスが許可されるかどうかが決まります。ビデオ会議は、Cisco MeetingPlace Video Integration がインストールされているサーバで開催する必要があります。したがって、このプロファイル設定により、ユーザの即時会議または予約不要の会議にビデオ会議を含めるかどうかも決まり、さらにビデオ会議と Web 会議にだれが参加できるかも決まります。

会議のスケジュールリングを許可されているユーザの [Allow Internet Access] プロファイルパラメータについて、その適切な設定を判断するには、次の表を使用します。

Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール先	会議のスケジュール担当者のプロファイルにある [Allow Internet Access] パラメータの設定	スケジュール担当者が開始できる即時会議または予約不要の会議への参加者	スケジュール担当者が開始できない即時会議または予約不要の会議への参加者
ファイアウォールの内側	No	ビデオ会議の内部参加者、および ISDN ビデオ エンドポイントを使用している参加者	ファイアウォールの外側にいる Web 会議の参加者または IP ベースのビデオ会議の参加者
ファイアウォールの内側	Yes	ファイアウォールの外側にいる Web 会議の参加者	任意のビデオ会議
DMZ	No	—	ファイアウォールの外側にいるビデオ会議または Web 会議の参加者
DMZ	Yes	すべてのビデオ会議および Web 会議の参加者	—



- (注) ユーザがこの項の制限事項に対処するには、即時会議または予約不要の会議をスケジュールする代わりに、スケジュールされた直後に開始する標準的なスケジュール会議をスケジュールします。そのような会議には、会議をスケジュールするときにプロファイル ID とは異なる会議 ID が必要です。

ビデオ会議の帯域幅について

ユーザが Cisco MeetingPlace Web Conferencing からビデオ エンドポイントにアウトダイヤルするときのビデオ会議のデフォルト帯域幅は、各ユーザのプロファイル、または各ユーザの割り当て先のグループのプロファイルで設定されます。

ユーザは、いつでも帯域幅の設定を変更できます。変更が適用されるのは、ユーザが Web 会議に再参加するとき、または Web 会議に次回参加するときです。参加者がダイヤルインすると、エンドポイントと Cisco IPVC MCU のネゴシエーションにより、使用可能な最小帯域幅が決定されます。

ユーザは、Cisco MeetingPlace Web Conferencing または MeetingTime の [Account Basics] ページで、ビデオ接続の帯域幅を変更できます。

指定された帯域幅をエンドポイントがサポートしていない場合、参加者は音声だけを使用できます。Cisco IPVC MCU に MP カードが挿入されている場合、複数の参加者を表示する（継続的な在席モード）には、アクティブな発言者だけを表示する場合よりも大きい帯域幅が必要です。詳細については、『Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Administrator Guide, Version 3.2』を参照してください。

ユーザ プロファイルとグループ プロファイルの情報の指定

- ステップ 1 この項（「[ビデオで使用するユーザ プロファイルの管理について](#)」）の情報（DMZ 構成に関する情報など）を使用して、ビデオ会議用のユーザ プロファイルとグループ プロファイルのパラメータを指定します。

ビデオ会議の統計情報について

この項で説明するツールを使用して、ビデオ会議の使用状況を監視します。表形式で表示されるレポートには、ビデオ会議の統計情報とビデオ以外の統計情報が含まれます。表にリストされていない MeetingTime のレポートには、ビデオ会議の統計情報は含まれていません。

MeetingTime のレポートの詳細については、『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server』を参照してください。

ビデオ会議の統計情報の表示

ステップ 1 表 4-6 の情報を使用して、ビデオ会議の統計情報を表示します。

表 4-6 ビデオ会議の統計情報

統計情報	この情報の表示方法
<p>会議ごと、または定例会議のインスタンスごとに、次の値を表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> スケジュールされているビデオの設置場所の数 会議に参加したビデオの設置場所の実際の数 この数には、Cisco MeetingPlace Audio Server と Cisco IPVC MCU 間のリンクが含まれます。 会議に使用される帯域幅 	<p>MeetingTime で [Review] タブをクリックします。目的の会議を検索します。左側のウィンドウで、1 つの会議をクリックします。会議に関する情報が、右側のウィンドウに表示されます。</p> <p>[Review] タブの情報は、画面表示に最も適しています。保存して他のアプリケーションで操作できる統計情報については、[Report] タブ、およびこの表内の別の行に含まれる情報を使用してください。</p>
<p>選択した日付範囲の会議ごとに、次のビデオ会議の統計情報を表示または保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> スケジュールされているビデオポートの数 (nVideoPortsReq) 実際に使用されているビデオポートの数 (ActNumVideoPorts) その会議のすべてのビデオ参加者が参加したビデオの合計秒数 (TotVideoPortSecs) 	<p>MeetingTime で [Report] タブをクリックし、左側のパネルで [Raw Meeting Details Info] をクリックします。右側のウィンドウの [Values] カラムで、レポートの開始日などのオプションをクリックし、値を入力してから [OK] をクリックします。必要に応じて、各オプションの値を選択します。イタリック体で表示されている項目は変更できません。最後に、[Generate Report] をクリックします。</p> <p>このレポートの統計情報には、Cisco MeetingPlace Audio Server と Cisco IPVC MCU 間のリンクは含まれていません。</p>

表 4-6 ビデオ会議の統計情報（続き）

統計情報	この情報の表示方法
<p>選択した日付範囲の会議ごとに、次のビデオ会議の統計情報を表示または保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオ会議の長さ 	<p>MeetingTime で [Report] タブをクリックし、左側のパネルで [Raw Mtg Participant Info] をクリックします。右側のウィンドウの [Values] カラムで、レポートの開始日などのオプションをクリックし、値を入力してから [OK] をクリックします。イタリック体で表示されている項目は変更できません。必要に応じて、各オプションの値を選択します。最後に、[Generate Report] をクリックします。</p> <p>[uid] 列で、目的の会議 (confnum) の [videolink] を検索します。その会議の [videolink] 行の [nVSecInConf] 列の値は、最初のビデオ参加者が会議に入席してから最後のビデオ参加者が退席するまでの時間に 5 分を加算したビデオ会議の長さ (秒単位) を表しています。</p> <p>このレポートの統計情報には、Cisco MeetingPlace Audio Server と Cisco IPVC MCU 間のリンクが含まれています。このリンクは、[videolink] と呼ばれます。</p>
<p>選択した日付範囲に、ビデオ エンドポイント経由で会議に参加した識別不可能な参加者、および各参加者がビデオ会議に入席した時刻と退席した時刻。</p>	<p>MeetingTime で [Report] タブをクリックし、左側のパネルで [Raw Participant Join Leave Info] をクリックします。右側のウィンドウの [Values] カラムで、レポートの開始日または終了日などのオプションをクリックし、値を入力してから [OK] をクリックします。イタリック体で表示されている項目は変更できません。必要に応じて、各オプションの値を選択します。最後に、[Generate Report] をクリックします。</p> <p>このレポートの行はそれぞれ、1 つの会議につき 1 人の参加者を表します。1 つの会議は、その会議に参加者がいた回数だけリストされます。[Device] カラムの数値 4084 は、1 つのビデオ エンドポイントを表しています。つまり、特定の会議の [Device] カラムに 4084 がリストされている行が 4 行ある場合、ビデオ エンドポイント経由でその会議に参加した参加者は 4 人ということになります。</p> <p>このレポートの統計情報には、Cisco MeetingPlace Audio Server と Cisco IPVC MCU 間のリンクは含まれていません。</p>
<p>プロフィール情報の要約には、次のビデオ関連のフィールドが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Allow Video Scheduling Video Endpoint Bandwidth Video Endpoint Address 	<p>MeetingTime で [Report] タブをクリックし、左側のパネルで [Raw Profile Info] をクリックします。右側のウィンドウの [Values] カラムで、各オプションの値を選択します。イタリック体で表示されている項目は変更できません。最後に、[Generate Report] をクリックします。</p> <p>このレポートでは、[gd] は Group Default を表しています。</p>
<p>グループ情報の要約には、次のビデオ関連のフィールドが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Allow Video Scheduling Video Endpoint Bandwidth 	<p>MeetingTime で [Report] タブをクリックし、左側のパネルで [Raw Group Info] をクリックします。右側のウィンドウの [Values] カラムで、各オプションの値を選択します。イタリック体で表示されている項目は変更できません。最後に、[Generate Report] をクリックします。</p>



Cisco MeetingPlace ビデオ会議の使用

この章では、Cisco MeetingPlace ビデオ会議について、非技術的な観点から詳しく説明します。また、この章は、必要なすべてのハードウェアおよびソフトウェアが起動し稼働中であることを前提としています。

この章は、次の項で構成されています。

- [サポートされる会議の種類 \(P.5-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace でのビデオ会議用のエンド ユーザのセットアップについて \(P.5-3\)](#)
- [ビデオ会議のスケジュールリングについて \(P.5-4\)](#)
- [Cisco MeetingPlace ビデオ会議への参加について \(P.5-6\)](#)
- [会議中の会議室でのビデオ機能 \(P.5-9\)](#)
- [エンド ユーザ用の情報 \(P.5-11\)](#)

サポートされる会議の種類

Cisco MeetingPlace のビデオ機能を使用できる会議の種類を [表 5-1](#) に示します。会議の種類の詳細については、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』を参照してください。

表 5-1 サポートされる会議の種類

会議の種類	ビデオ会議の動作
標準的なスケジュール会議	このマニュアルの説明のとおりです。
定例会議	このマニュアルの説明のとおりです。
即時会議	即時会議では、ビデオ会議はスケジュールされませんが、アドホック ベースで作成して参加できます。要件については、 P 5-8 の「アドホック ビデオ会議への参加について」 を参照してください。他の動作は、このマニュアルの説明のとおりです。
予約不要の会議(Cisco MeetingPlace システムによっては、この機能がないう場合もあります)	<p>予約不要の会議では、ビデオ会議はスケジュールされませんが、ユーザが会議に参加したとき、または会議中に、アドホック ベースで作成して参加できます。要件については、P 5-8 の「アドホック ビデオ会議への参加について」を参照してください。</p> <p>音声会議と同様に、スケジュール担当者が到着する前に会議に参加した参加者は、スケジュール担当者がビデオ会議を開始するまで待合室で待機します。</p> <p>他の動作は、このマニュアルの説明のとおりです。</p>
継続会議	<p>ビデオ会議は、最初の参加者がビデオ会議に参加したときに開始され、Cisco MeetingPlace で終了されるまで続きます。何らかの理由でビデオ会議が終了された場合でも、参加者が再び参加すると、ビデオ会議は再開されます。</p> <p>他の動作は、このマニュアルの説明のとおりです。</p>
講義形式の会議 (QA モードを除きます。このモードは、音声だけの会議では使用できますが、Release 5.3 のビデオ会議では使用できません)	P 5-10 の「講義形式の会議への参加について」 を参照してください。

Cisco MeetingPlace でのビデオ会議用のエンド ユーザのセットアップについて

エンドユーザのデスクトップまたはルームベースのビデオ機器をインストールして起動した後、特定のユーザがビデオ会議を含む会議をスケジュールできるように、そのユーザの Cisco MeetingPlace プロファイルを設定します。P 4-11 の「ビデオで使用するユーザ プロファイルの管理について」を参照してください。

会議をスケジュールするときにビデオ オプションが表示されるのは、ユーザの Cisco MeetingPlace プロファイルでビデオ会議が有効になっている場合だけです。Cisco MeetingPlace プロファイルを持たないユーザは、ビデオ会議をスケジュールできません。ビデオ会議への参加については、ユーザは Cisco MeetingPlace プロファイルを持つ必要はありません。

MeetingTime では、グループおよび個々のユーザがビデオ会議で使用する帯域幅を設定または変更できます。また、各ユーザがビデオ会議で使用するデフォルトのエンドポイント アドレスも設定または変更できます。

ユーザは、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の [アカウント基本情報] ページで、ビデオ会議の帯域幅およびデフォルトのエンドポイント アドレスを設定または変更できます(そのページにアクセスするために、オプションの [アカウント] リンクが表示されている場合)

エンドポイント アドレスには、電話番号または H.323 エンドポイント アドレスを指定できます。エンドポイント アドレスは 128 桁未満でなければなりません。

MeetingTime および Cisco MeetingPlace Web Conferencing の管理機能の詳細については、『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3』および『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3』を参照してください。

ビデオ会議のスケジュールリングについて

Cisco MeetingPlace の Web 会議のすべての機能(データ、音声、およびビデオ)が Cisco MeetingPlace Audio Server でスケジュールされていなければ、だれもそれらに参加できません。ただし、事前にスケジュールせずに、即時会議または予約不要の会議としてスケジュールすることもできます。

ビデオ会議をスケジュールできるユーザ

ビデオ会議のスケジュールを許可するプロファイルを持つユーザだけが、ビデオ会議をスケジュールできます。ビデオ会議をスケジュールできないユーザの場合は、会議をスケジュールするときにビデオ会議オプションが表示されません。

ビデオ会議をスケジュールできるタイミング

ビデオ会議は、Cisco MeetingPlace の Web 会議の他の機能とともに会議の前にスケジュールしたり、予約不要の会議または即時会議の開始時に起動したり、Cisco MeetingPlace の Web 会議の途中にスケジュールしたりすることができます (P 5-8 の「アドホック ビデオ会議への参加について」を参照)。

いずれの場合も、ビデオ会議リソースが使用可能で、ビデオ会議をスケジュールできるプロファイルを持つユーザによって会議がスケジュールされる必要があります。

ユーザがビデオ会議をスケジュールする方法

ユーザは、Cisco MeetingPlace Web Conferencing、Cisco MeetingPlace for Outlook、および MeetingTime の Release 5.3 に含まれる標準の Cisco MeetingPlace スケジュールリング インターフェイスを使用して Cisco MeetingPlace 音声会議または Web 会議をスケジュールする際に、ビデオ会議機能をスケジュールします。電話ユーザ インターフェイス (TUI) または音声ユーザ インターフェイス (VUI) を使用してビデオ会議をスケジュールすることはできません。

MeetingTime、Cisco MeetingPlace for Outlook、および Cisco MeetingPlace Web Conferencing でビデオ会議をスケジュールする手順については、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』、または Cisco MeetingPlace for Outlook または Cisco MeetingPlace Web Conferencing のオンライン ヘルプを参照してください。

ビデオ会議のスケジュールに関する注意事項は次のとおりです。

- ビデオ会議をスケジュールするには、会議のスケジュール担当者がスケジュールリング フォームに少なくとも 2 名以上のビデオ発信者を含める必要があります。必要な数のビデオ ポートまたは音声ポートを使用できない場合、Cisco MeetingPlace は会議をスケジュールしません。
- 会議のセッション中は、ビデオ会議用に予約されたポートの数を変更できません。ただし、追加の参加者がアドホック ベースでビデオ会議に参加できる場合があります。P 5-8 の「アドホック ビデオ会議への参加について」を参照してください。
- Release 5.3 より古い Cisco MeetingPlace クライアントを使用しているユーザは、ビデオ機能を含む会議をスケジュールできません。ただし、ビデオ会議には参加できる場合があります。P 5-8 の「アドホック ビデオ会議への参加について」を参照してください。
- 即時会議または予約不要の会議がスケジュールされたときに、Cisco MeetingPlace はビデオ ポートを予約できません。ただし、参加者がアドホック ベースでビデオ会議を開始できる場合があります。P 5-8 の「アドホック ビデオ会議への参加について」を参照してください。
- 会議のスケジュール担当者が、会議をスケジュールするときにパスワードを入力した場合でも、即時会議または予約不要の会議への参加にパスワードが要求されることはありません。パスワード保護された会議をスケジュールするには、スケジュール担当者が会議をスケジュールするとき、プロファイル ID とは異なる会議 ID を指定できます。

- スケジュールされた会議にビデオ会議と外部アクセスの両方が含まれているときは、次の点に注意します。
 - ファイアウォールの外側にいる参加者がビデオ会議に参加できるように Cisco MeetingPlace Video Integration が DMZ に導入されている場合、会議のスケジュール担当者は、外部の参加者が実際に参加するかどうかにかかわらず、ビデオ ポートをスケジュールするたびに [Allow Internet Access] オプションを [Yes] に設定する必要があります。
 - Cisco MeetingPlace Video Integration がファイアウォールの内側に導入されている場合、ファイアウォールの外側にいるユーザは、IP ベースのエンドポイント経由でビデオ会議に参加できません。IP ベースのエンドポイントを使用する内部ユーザがビデオ会議に参加できるようにするには、会議のスケジュール担当者が [Allow Internet Access] を [No] に設定する必要があります。この場合、ファイアウォールの外側にいるユーザは Web 会議に参加できません。ファイアウォールの外側にいる参加者が Web 会議に参加できるようにするには、会議のスケジュール担当者が [Allow Internet Access] を [Yes] に設定する必要があります。ただし、この会議ではビデオ会議は使用できなくなります。Cisco MeetingPlace Video Integration がファイアウォールの内側にインストールされている場合でも、ISDN ビデオ エンドポイントの外部ユーザはビデオ会議に参加できます。
- ビデオ会議と外部アクセスの両方を含む設定でユーザが即時会議または予約不要の会議をスケジュールする場合、[Allow Internet Access] パラメータを指定する各ユーザのプロファイル設定は、ユーザがビデオ会議をスケジュールする機能、およびファイアウォールの外側にいる Web 会議の参加者を含める機能に影響する場合があります。P 4-12 の「DMZ 構成およびビデオ会議に関する重要な情報」を参照してください。スケジュールされた直後に開始するスケジュール会議を（即時会議または予約不要の会議の代わりに）スケジューリングすることにより、ユーザは各会議で必要な機能を選択できます。そのためには、プロファイル ID とは異なる会議 ID を指定する必要があります。
- Cisco MeetingPlace では、スケジュール担当者が指定した数より多くのビデオ ポートがスケジュールされる場合があります。これは、ビデオ会議の数が制限されているためです。Cisco MeetingPlace は各ビデオ会議で使用可能なビデオ ポート数の平均を判別し、スケジュール担当者の指定したポート数が平均より少ない場合は、「追加」のポートを自動的に分配します。
- 会議に参加するためにダイヤルインする場合、会議 ID は、ビデオ エンドポイントが使用するダイヤル文字列の一部になります。一部のエンドポイントは比較的短いダイヤル文字列しか対応していないため、使用するエンドポイントが対応できる桁数を調べ、その制限で機能するように会議 ID を短くすることをお勧めします。

ビデオ会議の再スケジュールについて

会議のスケジュール担当者は、ビデオ会議が含まれない会議の再スケジュールと同じ方法で、ビデオ機能が含まれる会議を再スケジュールできます。

ビデオ会議のスケジュールに必要な条件は、再スケジュールにも適用されます。

Cisco MeetingPlace ビデオ会議への参加について

最初に Cisco MeetingPlace の Web 会議が存在していなければ、関連付けられたビデオ会議をユーザが開始することはできません。Cisco MeetingPlace の Web 会議は事前にスケジュールしたり、即時会議または予約不要の会議として開始したりすることができます。

ビデオ会議は、参加者の 1 人がビデオ会議に参加した直後に開始されます。

参加者がデスクトップのビデオ エンドポイントから参加する場合、ビデオ映像は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室ウィンドウではなく、デスクトップのビデオ エンドポイントのウィンドウに単独で表示されます。

プロフィール ユーザは、プロフィールに指定された帯域幅で接続するか、または、プロフィールに帯域幅が指定されていない場合は、デフォルトの帯域幅で接続します。ゲスト接続は、MeetingTime で指定したデフォルトの帯域幅で接続します。

予約不要の会議への参加について

予約不要の会議では、参加者がビデオ会議に参加した時点で主催者がまだ会議を開始していない場合、主催者が音声会議または Web 会議を開始するまで、ビデオ参加者はビデオ待合室で待機します。データと音声の会議と同様に、待合室にいる会議参加者は、会議中の機能を使用できません。

ユーザが Cisco MeetingPlace ビデオ会議に参加する方法

参加者は、Cisco MeetingPlace ビデオ会議への参加を試行する前に、ビデオ エンドポイントを開始する必要があります。

Apple コンピュータのユーザは、必ずビデオ エンドポイントからダイヤルインする必要があります。

参加者が音声専用デバイスとビデオ エンドポイントの両方を使用して 1 つの会議に参加する場合、それらのどちらか一方をミュートする必要があります。

参加者は、次の項で説明するいくつかの方法でビデオ会議に参加できます。

Cisco MeetingPlace Web Conferencing からのアウトダイヤルによるビデオ会議への参加について

Cisco MeetingPlace Web Conferencing では、ユーザは次の 3 つの方法でビデオ会議に参加できます。

- [現在の会議] ページから [接続] ボタンをクリックする。
- 会議室の [接続] ボタンをクリックする。
- 会議室の [個人] メニューから [接続] を選択する。

いずれの方法でも、ビデオ エンドポイントが自動的に入力されていない場合には、ユーザはビデオ エンドポイントを入力してから、[接続] をクリックします。ISDN エンドポイントのユーザの場合は、ビデオ エンドポイントの番号の前に、Cisco IPVC PRI Gateway で定義された適切なサービス プレフィクスを入力する必要があります。詳細については、『[Cisco IPVC 3526 PRI Gateway and Cisco IPVC 3540 PRI Gateway Module Administrator Guide, 2.0](#)』を参照してください。

Cisco MeetingPlace for Outlook からのビデオ会議への参加について

Cisco MeetingPlace の Web 会議でビデオ会議リソースがスケジュールされている場合、ユーザが Microsoft Outlook で受信した通知の [MeetingPlace] タブをクリックして [Connect Me] ボタンをクリックすると、Cisco MeetingPlace はビデオ エンドポイントをダイヤルし、ビデオ会議に接続します。会議通知のテキストに記載されているダイヤルイン番号を使用して、ビデオ エンドポイントからダイヤルインすることもできます。会議にパスワードが必要な場合、またはプロフィール ユーザ

や招待されたユーザに会議が制限されている場合、参加者は通知の [Connect Me] ボタンをクリックしてビデオ会議に参加するか、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室からビデオ会議に参加する必要があります。

SMTP 電子メール クライアントからのビデオ会議への参加について

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、SMTP 電子メール アプリケーションのユーザに Cisco MeetingPlace の Web 会議の通知を送信します。SMTP 通知には、ビデオ会議に参加する手順説明と、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の [現在の会議] ページを開くためのハイパーテキストリンクが含まれます。ハイパーテキストリンクを使用すると、参加者は会議からビデオ エンドポイントにアウトダイヤルできます。会議にパスワードが必要な場合、またはプロファイル ユーザや招待されたユーザに会議が制限されている場合、ユーザが会議に参加する唯一の方法は、システムからエンドポイントにアウトダイヤルすることです。

Cisco VT Advantage ビデオ ポイントからのビデオ会議への参加について

Cisco VT Advantage は、Cisco VT Advantage ソフトウェア アプリケーションと、ビデオ テレフォニー USB カメラである Cisco VT Camera で構成されています。これらの機能は、Cisco IP Phone と連携してビデオ会議を提供します。

Cisco VT Advantage ビデオ エンドポイントから Cisco MeetingPlace ビデオ会議に参加するには、ユーザはデスクトップ エンドポイントをプラグインし、Cisco VT Advantage ソフトウェアを起動してから、次のいずれかの方法を使用します。

- Connect をクリックし、Cisco VT Advantage エンドポイントの番号を入力して、Cisco VT Advantage エンドポイントにアウトダイヤルします。Cisco VT Advantage エンドポイントの番号を入力するのは、その番号がプロファイルに入力されていない場合です。
- IP 電話機のキーパッドで、会議の番号をダイヤルします。ダイヤル番号は、ユーザが Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室で [接続] ボタンをクリックすると表示されます。スケジュール担当者が会議にビデオ会議を含めた場合は、電子メールで送信される会議通知にもダイヤル番号が表示されます。コールの接続中に遅延が生じる場合があります。これは正常な動作です。会議に参加制限が設定されている場合、ユーザはダイヤルインできません。

VPN ソフトウェアを使用してネットワークにアクセスしているユーザは、Cisco VT Advantage からビデオ会議に参加できません。

ダイヤルインによるビデオ会議への参加について

ビデオ会議にパスワードまたはプロファイル アクセス制限が設定されていない場合、参加者はエンドポイントから会議にダイヤルインできます。エンドポイントに入力する番号は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の [現在の会議] ページに表示されます。また、ユーザが Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室で [接続] をクリックしたときに起動されるダイアログボックスの下部にも表示されます。スケジュール担当者がビデオ会議を指定した場合、この番号は、電子メールで送信される会議通知のテキストにも含まれています。エンドポイントからダイヤルインするすべてのユーザは、ゲストとしてビデオ会議に参加します。それらのユーザのビデオ エンドポイントは、会議室の参加者リストで Web 会議への在席状況とは別にリストされます。エンドポイントから番号をダイヤルインする方法は、エンドポイントまたは関連ソフトウェアのマニュアルに記載されています。コールが会議に接続されるまで、遅延が生じる場合があります。

アクセス情報を持っている人であれば、だれでも会議にダイヤルインできます。会議へのアクセスが制限されている場合、ビデオ エンドポイントからダイヤルインを試行する参加者は会議に接続されません。その際、エラー メッセージを受信しない場合があります。

ISDN エンドポイントからダイヤルインするユーザは、ISDN エンドポイント用に提供されている番号をダイヤルする必要があります。IVR プロンプトには、提供されている残りの桁を入力します。

アドホック ビデオ会議への参加について

会議のスケジュール担当者が会議にビデオ会議ポートをスケジュールしなかった（またはスケジュールできなかった）場合でも、ビデオ発信者が参加できることがあります。

アドホック ビデオ会議は、次のような場合に便利です。

- 会議が即時会議または予約不要の会議である。
- 会議のスケジュール担当者が会議にビデオ リソースをスケジュールしなかった。
- 会議が TUI（電話ユーザ インターフェイス。以前は VUI（音声ユーザ インターフェイス）と呼ばれていた）でスケジュールされている。
- 会議が Release 5.3 より古いリリースの Cisco MeetingPlace でスケジュールされている。
- スケジュール担当者がスケジュールリング フォームに入力した人数を超える参加者が、ビデオ会議に参加する必要がある。

アドホック ビデオ会議は、次の条件が満たされている場合に限り開催できます。

- 会議のスケジュール担当者のプロフィールで、ビデオが有効になっている。
- 会議が Cisco MeetingPlace Audio Server でスケジュールされている。これには、予約不要の会議と即時会議が含まれます。
- 会議がセッション中であるか、または、スケジュールされた会議のガード タイム内でユーザがアドホック会議の開始を試行している。
- ビデオ会議の数が最大数に達していない。
- ビデオ会議でスケジュールできる最少限のポートが使用可能である。

1 つのビデオ会議ポートが使用可能であれば、参加者はアドホック ベースで既存のビデオ会議に参加できます。

参加者は、スケジュールされたビデオ会議への参加と同じ方法で、アドホック ビデオ会議に参加します。

パスワードで保護されている会議への参加について

スケジュール担当者が、入席にパスワードを必要とする Cisco MeetingPlace の Web 会議をスケジュールした場合、すべての参加者は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing から、または Cisco MeetingPlace for Outlook 通知の [MeetingPlace] タブからアウトダイヤルしてビデオ会議に参加する必要があります。

招待者またはプロフィール ユーザに制限された会議への参加について

公開された会議ではない場合（招待者またはプロフィール ユーザに参加が限定されている場合）は、会議通知の受信者、ビデオ エンドポイントにアウトダイヤルするビデオ会議や Web 会議の参加者、またはプロフィール ユーザだけがビデオ会議に参加できます。参加者はこれらのビデオ会議にダイヤルインできません。



(注)

Cisco MeetingPlace は、アウトダイヤル先のエンドポイントを認証できません。ユーザがアウトダイヤルする番号を認識し、その番号を指定する権限を持っていることが前提です。

会議中の会議室でのビデオ機能

参加者がビデオ会議に参加すると、ルームベースのシステムのビデオ モニタ、またはコンピュータベースのビデオ エンドポイントを使用している参加者のデスクトップの別ウィンドウに、参加者のビデオ映像が表示されます。

ビデオ映像は、アクティブな発言者のみ（またはルームベースのシステムの場合はアクティブな発言者がいる部屋）あるいはアクティブな発言者（またはルームベースのシステムの場合はアクティブな発言者がいる部屋）を含む複数の参加者（または部屋）のいずれかです。複数の映像が表示される場合、参加者は表示対象の参加者を制御できません。音声だけの参加者がアクティブな発言者の場合、別のビデオ参加者が発言するまで、最後にアクティブだったビデオ発言者が引き続き表示されます。

ビデオ参加者がビデオ エンドポイントを使用して発言すると、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室の [発信中] 機能には、[**ビデオ参加者**] と表示されます。音声参加者が発言すると、その参加者の名前またはゲスト ID が表示されます。

Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室の参加者リストでは、ビデオ会議の参加者がビデオ カメラとマイクを表すアイコンで識別されます。参加者のミュートや一時停止など、ビデオ送信に関するステータス情報も参加者リストに表示されます。

ビデオ リンクは、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室の参加者リストには表示されませんが、MeetingTime では電話機として表示されます。

次の項では、会議室のビデオ参加者が使用できるビデオ関連機能について説明します。

すべての音声（電話機）および Web 会議機能は、通常どおり、すべての参加者が使用できます。



(注)

音声会議の参加者が使用できる電話ユーザ インターフェイス (TUI) コマンド（以前の音声ユーザ インターフェイス (VUI) コマンド）は、Cisco MeetingPlace Audio Server に直接接続されないため、ビデオ会議の参加者は使用できません。音声エンドポイントをミュートする #5 という電話機のキーの組み合わせは、ビデオ エンドポイントの音声送信には影響しません。

ビデオ送信の変更について

参加者は、ビデオ送信の特定の機能を Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室から制御できます。ビデオ参加者が慣れている場合は、IPVC インターフェイスでビデオ オプションを制御することもできます。

Cisco MeetingPlace の Web 会議中のどの時点でも、参加者は Web 会議の会議室の [個人] メニューを使用して、次のように自分のビデオ送信を変更できます。

- データと音声の会議に参加しているときに、ビデオ会議の接続または接続解除を行う。
- ビデオ エンドポイントからの自分の映像のビデオ送信を一時停止または再生（再開）する。複数のエンドポイントからの送信を表示する場合、一時停止されている参加者のカメラ映像は、表示ローテーションから除外されます。アクティブな発言者だけが表示されており、一時停止中の参加者が現在の発言者である場合、ビデオ コールを切断せずに、ユーザまたは部屋のビデオ映像が直前に送信された映像でフリーズします。ビデオ送信を一時停止しても、ビデオ送信の音声チャンネルには影響ありません。

- ユーザが持っているすべての音声ソース(ビデオマイク、電話機など)をミュートまたはミュート解除する。音声専用の接続に影響を与えることなく、ビデオ送信の音声をミュートするには、参加者はエンドポイントのハードウェアまたはソフトウェアを使用してエンドポイントをミュートする必要があります。ビデオ送信で音声チャンネルをミュートしても、そのエンドポイントからのビデオ映像の送信には影響ありません。#5 などの音声会議のキーストロークは、Cisco MeetingPlace Audio Server に直接接続されないため、ビデオエンドポイントには適用されません。
- アクティブな発言者(または発言者の部屋)だけを表示、または複数の参加者(または参加者の部屋)を表示する。

ビデオ参加者が入席/退席、ミュートのオン/オフ、ビデオ送信の一時停止/再開をいつ実行したかが参加者リストに表示されます。

他の参加者のビデオ送信の変更について

プロフィールユーザは、参加者リストで任意の参加者の名前またはゲスト ID をクリックすることにより、そのビデオ参加者に対して次の操作を行うことができます。

- 参加者のビデオ送信を一時停止または再生(再開)する。
- ビデオ会議から別のビデオ参加者の接続を解除する。この操作によって音声会議または Web 会議から参加者が削除されることはありません。
- 会議で使用されたすべてのメディア(ビデオ、音声、Web 会議)から 1 人の参加者を退席させる。

ビデオ会議セッションの記録について

記録中の Cisco MeetingPlace の Web 会議にビデオ会議参加者が在席している場合、その参加者のビデオ送信の音声チャンネルが記録されます。ビデオ送信の映像は記録されません。

サブ会議セッションの開始について

サブ会議セッションは、音声参加者だけが使用できます。ビデオエンドポイントは、サブ会議セッションに入席できません。ビデオユーザがサブ会議セッションへの入席を試行した場合、その参加者のビデオ送信の音声チャンネルと、Web 会議のフォーカスがメイン会議室に残ります。

サブ会議セッションに参加するには、ビデオ参加者が音声デバイス(電話機やスピーカフォンなど)から Cisco MeetingPlace の Web 会議にも参加する必要があります。また、メイン会議室から退室する前に、ビデオエンドポイントから、(すべての音声チャンネルをミュートする会議室インターフェイスを使用せずに)ビデオエンドポイントの音声チャンネルを手動でミュートする必要があります。

講義形式の会議への参加について

講義形式の会議には 1 人または複数のプレゼンタがいて、他のすべての参加者はリスナーです。リスナーに発言権を与えることもできます。講義形式の会議の概要については、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』を参照してください。

講義形式の会議では、ビデオ参加者に標準的なルールが適用されますが、次の例外があります。

- 会議室が閉じている場合、すべてのビデオ参加者(プレゼンタを含む)はミュートされますが、互いの映像を見ることはできます。プレゼンタが発言するには、標準的な音声デバイスを使用して音声会議に参加する必要があります。すべての参加者は、音声会議の講義形式の会議に関するルールに従って、標準的な音声接続で発言できます。

- 会議室が開いている場合、すべてのビデオ参加者は発言でき、互いの映像を見ることもできます。
- 発言者は個々のビデオ参加者のエンドポイントをミュートおよびミュート解除できません。ただし、開いている会議室の参加者は自分でミュートまたはミュート解除することはできます。
- 待合室にいる参加者は、発言することも互いの映像を見ることもできません。

会議のスケジュール担当者は、すべての招待者をリスナーとして入席させるか、またはすべての招待者が「開いている」会議室に入席して発言できるかどうかを決定します。

ビデオ会議の延長について

すべての参加者に十分対応できる数のビデオポートと音声ポートが使用可能な場合に限り、ビデオ会議を延長できます。

ビデオ会議からの退席について

参加者は、Web 会議に参加しているときにビデオ会議から退席することができます。そのためには、次のどちらかを実行します。

- 会議室で [ビデオの接続解除] を選択して、ビデオを接続解除する。
- ビデオ エンドポイントを切断する。

ビデオ会議の終了について

Cisco MeetingPlace Web Conferencing が続行中であり、少なくとも 2 人以上のビデオ参加者がいるか、1 人の音声参加者と 1 人のビデオ参加者がいる限り、ビデオ会議は継続されます。

Cisco MeetingPlace Web Conferencing は、次のいずれかの条件で終了します。

- すべての参加者が Cisco MeetingPlace Web Conferencing を終了するために会議室ウィンドウを閉じるか、[個人] > [会議を退席] を選択する。
- 会議のスケジュール担当者が Cisco MeetingPlace Web Conferencing の会議室で [会議] メニューの [会議の終了] を選択する。

エンド ユーザ用の情報

ビデオ会議ユーザ用の手順が記載されたクイック スタート ガイドには、<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/video/53/index.htm> からアクセスできます。

ビデオ会議機能を含むエンド ユーザ用の手順は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing および Cisco MeetingPlace for Outlook のオンライン ヘルプにも記載されています。



トラブルシューティング

この章は、次の項で構成されています。

- [イベントログの表示 \(P.6-2\)](#)
- [トラブルシューティングの一般的なガイドライン \(P.6-3\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Video Integration の設定と開始に関する問題 \(P.6-4\)](#)
- [ビデオ会議のスケジュールリングに関する問題 \(P.6-6\)](#)
- [ビデオ会議への参加に関する問題 \(P.6-7\)](#)
- [ビデオ会議中の問題 \(P.6-9\)](#)

イベントログの表示

Cisco MeetingPlace のロギングはすべて Gateway SIM イベントログに対して行われます。

イベントログを表示するには、システムトレイで Cisco MeetingPlace のアイコン（オレンジ色のドア）を右クリックし、[Eventlog] を選択します。

ログの詳細レベルの設定

ステップ 1 Windows の [Control Panel] で、[MeetingPlace Gateways] をダブルクリックします。

ステップ 2 [Video] タブをクリックします。

ステップ 3 [Tracing Level] フィールドで、次の表に示す値を入力します。すべてのエントリは大文字と小文字が区別されます。

詳細レベル	Tracing Level の設定値
Cisco MeetingPlace Video Integration からのエラーおよびビデオ会議のステータスを含む最低限のログ情報	Retail これがデフォルトの値です。
設定値 Retail より詳細で、設定値 Detail の設定ほど詳細ではないログ	Mid
デバッグを目的とした詳細データ この設定ではログがすぐにいっぱいになるので、必要な場合にだけ、キーをこのレベルに設定します。	Detail

ステップ 4 [OK] をクリックします。この設定を変更してから有効になるまで、最大 1 分かかります。

トラブルシューティングの一般的なガイドライン

この項の項目は、システムに問題が発生した場合の一般的な確認事項です。



(注)

Cisco MeetingPlace Video Integration が機能するためには、Cisco MeetingPlace システムおよび Cisco IPVC ビデオ会議システムがそれぞれ正常に稼働している必要があります。問題が発生した場合は、両方のシステムがそれぞれ Cisco MeetingPlace Video Integration から独立して、正しく動作していることを最初に確認する必要があります。確認方法は次のとおりです。

- Cisco MeetingPlace で、音声会議と Web 会議を作成し、その会議に参加します。
 - Cisco IPVC MCU で、ビデオ会議を作成し、その会議に参加します。Cisco MeetingPlace でリソースを制御できるように Cisco IPVC MCU を設定している場合は、Cisco IPVC MCU の [**External conference authorization policy**] フィールドに設定した権限を無効にしない限り、独立したビデオ会議の機能はテストできません。
-
- すべてのコンポーネントが Cisco MeetingPlace Video Integration 用に正しく設定されていることを確認します。手順については、[第 3 章「Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール」](#)を参照してください。
 - イベントログでエラーと警告を確認します。
 - Cisco MeetingPlace Audio Server で **gwcptrace** CLI コマンドを使用して、Cisco MeetingPlace Video Integration に関連する項目を探します。この項目は、**MPVidSvc** によって識別されます。

Cisco MeetingPlace Video Integration の設定と開始に関する問題

問題 Cisco MeetingPlace Video Integration を初期化できない。

解決策 Cisco MeetingPlace Video Integration は、次の処理のうち少なくとも 1 つ以上の処理を実行できないので、正常に実行できるようになるまで、または Cisco MeetingPlace Video Integration サービスが停止されるまで、初期化を試行し続けます。この問題 / 解決策のリストの後に、具体的なエラーメッセージを示します。

- Cisco IPVC MCU への接続
- Cisco IPVC MCU への管理者としての登録
- Cisco MeetingPlace Audio Server からのシステム リソース データの取得
- インストール中に入力したサービス プレフィクスが Cisco IPVC MCU に存在することの確認
- 必要な [Voice Activated] 会議ビューが Cisco IPVC MCU に存在することの確認。
- Cisco IPVC MCU の既存の会議のステータスと Cisco MeetingPlace Audio Server との同期化

問題 イベントログに "CMcuController::initialize(), ERROR: Failed to invoke MPCGICOM.\n"); というエラー メッセージが表示される。

解決策

- Cisco MeetingPlace Video Integration は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing との接続を確立できません。もう一度やり直してください。それでも接続できない場合は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing サービスを再起動します。
- Cisco MeetingPlace Web Conferencing が稼働していません。

問題 イベントログに "CMcuController::initialize(), ERROR: XmlMsgHandler failed to initialize: %d\n", ret); というエラー メッセージが表示される。

解決策 シスコ テクニカル サポート担当者にお問い合わせください。『*Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support*』を参照してください。

問題 イベントログに "CMcuController::initialize(), ERROR: XmlSocket failed to initialize: %d\n", ret); というエラー メッセージが表示される。

解決策 Cisco MeetingPlace Video Integration は、Cisco IPVC MCU との接続を確立できません。Cisco IPVC MCU を PING して接続を確認します。

問題 イベントログに "CMcuController::initialize(), ERROR: CmdHandler failed to initialize.\n"); というエラー メッセージが表示される。

解決策 シスコ テクニカル サポート担当者にお問い合わせください。『*Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support*』を参照してください。

問題 イベントログに "CMcuController::initialize(), ERROR: Failed to verify designated service code from MCU\n"); というエラー メッセージが表示される。

解決策 Cisco MeetingPlace Video Integration は、MeetingPlace サービス専用のサービス プレフィクスが Cisco IPVC MCU に存在することを確認できません。

問題 イベントログに "CMcuController::initialize(), ERROR: Repeatedly failed to send resource info to MP Server.\n"); というエラー メッセージが表示される。

解決策

- Cisco MeetingPlace Web Conferencing がまだ起動中か、または稼働していません。Cisco MeetingPlace Video Integration は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing への接続を 15 秒間隔で 3 回試行します。Cisco MeetingPlace Web Conferencing が初期化されるまでお待ちください。

問題 イベントログに "CMcuController::initialize(), ERROR: Failed to verify resources in MCU\n"); というエラー メッセージが表示される。

解決策 Cisco MeetingPlace Video Integration は、使用できるビデオ ポートと会議の数の計算に必要なリソース データを Cisco IPVC MCU から取得できません。

問題 イベントログに "CMcuController::initialize(), ERROR: Failed to register MPVideo as authorizer.\n"); というエラー メッセージが表示される。

解決策

- Cisco MeetingPlace Video Integration は、管理者として Cisco IPVC MCU に登録できません。Cisco IPVC MCU で権限の設定を確認します。P 3-5 の「Cisco MeetingPlace のサポートに必要な Cisco IPVC MCU パラメータの設定」を参照してください。
- 別のアプリケーションが以前に Cisco IPVC MCU で管理者として宣言していないかどうかを確認します。必要に応じて、Cisco IPVC MCU をリブートし、アプリケーションとの接続をすべて解除します。

問題 イベントログに "CMcuController::initialize(), ERROR: Failed to get Video Information from the MCU unit.\n") というエラー メッセージが表示される。

解決策 Cisco MeetingPlace Video Integration がビデオ会議のビュー設定を取得できないか、現在のビュー設定が要件を満たしていません。原因については、イベントログで以前のエントリを確認してください。

問題 イベントログに "CMcuController::initialize(), ERROR: Failed to register MPVideo for Notifications.\n") というエラー メッセージが表示される。

解決策

- Cisco MeetingPlace Video Integration で再初期化が再試行されるまで、数分間お待ちください。
- このエラーが引き続き発生する場合は、シスコ テクニカル サポート担当者にお問い合わせください。『*Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support*』を参照してください。

問題 Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール後、イベントログに Conference Technology Provider Initialization Failed, MCU Controller initialization failed というエラー メッセージが表示される。

解決策 Cisco MeetingPlace Video Integration および Cisco MeetingPlace Web Conferencing で、接続を確立する準備ができていません。Cisco MeetingPlace Video Integration で接続の確立が再試行されるまで、数分間お待ちください。

問題 Cisco MeetingPlace Video Integration が稼働していないようである。

解決策 Cisco MeetingPlace Video Integration が稼働しているかどうかを確認します。

- イベントログを確認します。STATUS: Cisco MeetingPlace Video Integration READY to receive requests from MPAgent というメッセージが表示されているはずです。
- Cisco MeetingPlace のコマンドライン インターフェイス (CLI) で、**gwstatus** と入力します。正しく稼働している場合、そのステータスは OK になります。

問題 Cisco MeetingPlace Video Integration の開始時のソケット エラーがイベントログに記録され、Cisco MeetingPlace Video Integration が Cisco IPVC MCU と通信できない。

解決策

- Cisco MeetingPlace Video Integration が Cisco IPVC MCU と異なるネットワーク ドメインに存在している可能性があります。また、両者間の IP ポートが開いていません。ポート 3336 を開きます。
- Cisco IPVC MCU が停止しています。

ビデオ会議のスケジュールリングに関する問題

問題 ユーザがビデオ会議をスケジュールしようとしたが、会議をスケジュールできなかった。

解決策 考えられる原因は次のいずれかです。

- 指定した時間に使用できるビデオ ポートが不足しています。この問題が頻繁に発生する場合は、フロータ ポートの数を減らすか、オーバーブック ポートの数を増やしてください。P 4-8 の「[ポートパラメータの設定について](#)」を参照してください。
- 指定した時間に、使用可能なビデオ会議がもう存在していない可能性があります。
- 会議ごとに最低限必要なビデオ ポートが使用できない場合、会議をスケジュールできません。詳細については、P 2-7 の「[スケジュールされるビデオ ポートの最小数について](#)」を参照してください。この問題が頻繁に発生する場合は、オーバーブック ポートの数を調整してください。P 4-9 の「[\(オプション\) オーバーブック ポートの数の設定](#)」を参照してください。

問題 ユーザがスケジュールした数より多くのポートが会議に割り当てられる。

解決策 これは正常な動作です。システムの許容範囲を超えて会議がスケジュールされるのを防ぐために、会議ごとにシステムで使用できるポートの平均数より少ないビデオ ポートをユーザがスケジュールした場合は、追加のビデオ ポートが自動的に割り当てられます。Cisco MeetingPlace で会議の平均数の決定に使用される数式は、「(ビデオ ポートの数 - ビデオ フロータ ポートの数 + ビデオ オーバーブック ポートの数) / ビデオ会議の総数」となります。Cisco IPVC MCU で EMP カードが使用されている場合は、MP カードが使用されているときよりも、追加のポートが割り当てられる頻度が高くなります。この割り当ての発生を最小限に抑えるには、Cisco MeetingPlace の Web 会議に固有の手順に従って IPVC を設定します。詳細については、IPVC のリリース ノート『*Cisco IPVC 3511 MCU and Cisco IPVC 3540 MCU Module Release Notes for Release 3.5*』を参照してください。

ビデオ会議への参加に関する問題

問題 Cisco MeetingPlace が、Cisco IPVC MCU のビデオ会議の音声チャンネルと Cisco MeetingPlace の音声会議を接続するリンクを開始できない。

解決策

- Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway が正しく設定されていることを確認します。これをテストするには、Cisco MeetingPlace の音声会議を作成して、IP 電話機にアウトダイヤルします。IP 電話機が音声会議に正常に接続され、MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway が正しく設定されている場合は、Cisco CallManager と MCU ゲートキーパーの設定を確認します。それ以外の場合は、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway, Release 5.2.1*』を参照してください。
- Cisco IPVC MCU への接続を確認します。ルーティングが正しく行われていることをテストするには、Cisco MeetingPlace の Web 会議から対応する Cisco IPVC MCU のビデオ会議にアウトダイヤルします。
- Cisco MeetingPlace Audio Server を確認して、アウトダイヤルが実際に行われたことを確認します。
- リンクに使用できるビデオ ポートがない可能性があります。ただし、そのような事態はほとんど発生しません。
- MeetingTime を確認して、ビデオのライセンスが有効であることを確認します。

問題 ユーザがビデオ会議を開始または接続できない。

解決策

- Cisco MeetingPlace Video Integration が稼働していることを確認します。
- 参加者がアドホック ベースで参加しようとしている場合、ビデオ リソースは保証されないため、使用できない可能性があります。
- 事前にビデオ ポートがスケジュールされている場合でも、ビデオ ポートを使用できない可能性があります。ただし、そのような事態はほとんど発生しません。この問題が頻繁に発生する場合は、指定したオーバーブック ポートの数を減らしてください。オーバーブック ポートの最適な数を設定するには、P 4-9 の「(オプション) オーバーブック ポートの数の設定」を参照してください。
- すべての接続が正しく設定され、すべてのコールが目的の宛先にルーティングされ、目的のエンドポイントが到達可能かどうかを確認します。
- イベントログを確認します。
- この項で、アウトダイヤルとダイヤルインに関連する他の問題 / 解決策の項目も参照してください。

問題 ビデオ エンドポイントから会議にダイヤルインできない。

解決策 考えられる原因は次のとおりです。

- 前述の問題 / 解決策の項目のいずれかに該当しています。
- 一時的な問題である可能性があります。もう一度やり直してください。
- ビデオ エンドポイントから Cisco IPVC MCU にダイヤルインするだけでは、アドホック会議を作成できません。Cisco MeetingPlace で会議が進行中か、スケジュールされている必要があります。Cisco MeetingPlace でアドホック会議を開始するには、P 5-8 の「アドホック ビデオ会議への参加について」を参照してください。Cisco MeetingPlace の Web 会議がセッション中になったら、ビデオ会議を開始します。
- 会議にパスワードが必要な場合や、プロファイル ユーザまたは招待されたユーザに会議が制限されている場合、ユーザは Cisco MeetingPlace Web Conferencing または Cisco MeetingPlace for Outlook の通知からアウトダイヤルすることによって会議に参加する必要があります。

- コールが目的の宛先に正常に到達していない可能性があります。ルーティングパターンを確認してください。たとえば、Cisco MeetingPlace の Web 会議のサービスプレフィクスが Cisco IPVC MCU で一意であること、およびゲートキーパーと Cisco CallManager にこのコードと同一かこのコードで始まる初期文字列がないことを確認します。たとえば、サービスプレフィクスが 87 の場合、8* で始まるすべてのコールを意図しない宛先にルーティングするようなルーティング指示が、ゲートキーパーと Cisco CallManager にないことを確認します。
- 一部のエンドポイントで、ダイヤル文字列の最大文字数がダイヤルイン番号より少ない可能性があります。

問題 SCCP エンドポイントに正常にアウトダイヤルできない。

解決策 Cisco CallManager でテクノロジープレフィクスが正しく設定されていることを確認します。

問題 ユーザがビデオ会議に参加しようとアウトダイヤルしたが、何も起こらないか、アウトダイヤルのエラーメッセージが表示される。

解決策

- ユーザがビデオ会議への参加を試行する前に、ビデオエンドポイントが稼働している必要があります。
- Cisco MeetingPlace Video Integration が間違った E.164 番号で設定されている可能性があります。
- システムで使用可能なポートがもう存在していない可能性があります。
- アウトダイヤルされた回線がすでに使用中である、接続されていない、存在しない、正しく入力されていない、正しく設定されていないなどの原因が考えられます。
- この項で、会議の開始や参加に関連する他の問題 / 解決策の項目も参照してください。

問題 (ロードバランシングの設定の場合のみ) 音声会議と Web 会議は起動し稼働中であるが、ビデオ会議を使用できない。

解決策 Cisco MeetingPlace Video Integration がインストールされている Cisco MeetingPlace Web Conferencing サーバが、会議の開始時に停止していたか、使用できなかった可能性があります。この問題が発生した場合、会議は Cisco MeetingPlace Video Integration がインストールされていないサーバにロールされ、この会議でビデオ会議を開催できなくなります。P 3-14 の「ビデオ会議のロードバランシングの設定」を参照してください。

問題 ビデオエンドポイントにアウトダイヤルすると、**Error:[513] A video call is already in progress. Please wait for the call to complete.** というエラーメッセージが表示される。

解決策 ユーザが [Connect] ダイアログボックスで指定した E.164 番号が、すでにビデオ会議に参加しているか、現在呼び出し中のエンドポイントに関連付けられています。

問題 ユーザが会議にダイヤルインしようとしたが、コールが拒否されたというメッセージがアナウンスされる。

解決策 ビデオ会議がセッション中でないか、またはリソースが参加者に対応できません。

問題 ビデオ会議に参加するオプションを Web 会議から使用できない。

解決策 DMZ またはロードバランシングの設定では、Cisco MeetingPlace Video Integration がインストールされていないサーバで会議が開催された場合、その会議についてはビデオ会議を使用できません。

問題 ビデオ会議に使用できるポートがないが、ポートを使用できるはずである。

解決策

- Cisco MeetingPlace で使用できるはずのポートが SCCP サービスで使用されていないことを確認します。SCCP と H.323 は、Cisco IPVC MCU のリソースを共有します。
- この問題が頻繁に発生する場合は、レポートツールを使用して使用状況のパターンを検査し (P 4-14 の「ビデオ会議の統計情報について」を参照)、P 4-8 の「ポートパラメータの設定について」の計算を使用してフロータポートとオーバーブックポートの設定を変更します。

ビデオ会議中の問題

問題 ビデオ参加者には音声参加者の声が聞こえるが、音声参加者にはビデオ参加者の声が聞こえない。

解決策 Cisco IPVC MCU の音声コーデックの優先順位の設定が、Cisco MeetingPlace Audio Server の設定と一致していることを確認します。

問題 ビデオ映像は送信されるが、音声は送信されない。

解決策

- ビデオ エンドポイントがエンドポイントでミュートされていないことを確認します。

問題 ビデオ エンドポイントから音声チャンネルは送信されるが、ビデオ映像は送信されない。

解決策

- 会議がエンドポイントでサポートされていない帯域幅に設定されている可能性があります。
- 使用されているビデオ形式 (コーデック) が、エンドポイントでサポートされていない可能性があります。

問題 Cisco VT Advantage を使用してビデオ会議に参加したが、ビデオが機能しない。

解決策 ビデオ コーデックが Cisco IPVC MCU と Cisco CallManager で一致していることを確認します。

問題 [View Active Speaker] だけが使用可能で、ユーザは [View Multiple People] に切り替えることができない。

解決策

- Cisco IPVC MCU に MP カードだけが装着されていて、EMP カードが装着されていない場合、SCCP エンドポイントから会議に参加できるように MCU が設定されていると、どの参加者に対しても現在の発言者しか表示されません。
- Cisco IPVC MCU に EMP カードが装着されている場合は、[Continuous Presence] ビューが正しく設定されていることを確認します。P 3-9 の「[会議ビューのパラメータの設定](#)」を参照してください。

問題 ビデオ エンドポイントからの音質が低くなったり、雑音やエコーが聞こえてくる。

解決策 この問題は Cisco MeetingPlace に関連したものではありません。考えられる解決策は次のとおりです。

- 静かな場所で、できるだけ指向性の強いマイクを使用することによって、背後の雑音を抑えます。
- マイク付きのビデオ エンドポイントと電話機の両方、または複数の音声デバイス (種類は問わず) を介して接続されている場合は、1 つを残して他のデバイスをすべて切断するかミュートにします。
- ネットワークで Cisco CallManager を使用している場合は、Cisco CallManager の無音圧縮 (コンフォート ノイズ) をオフにします。
- すべてのエンドポイントで音質を最適化するように設定します。手順については、エンドポイントに付属のマニュアルを参照してください。シスコシステムズでは、サードパーティ製のエンドポイントに対してテクニカル サポートを提供できません。
- 以上の方法で問題が解決しない場合は、ビデオ エンドポイントの音声チャンネルをエンドポイントでミュートにしてから、電話機を介して会議に接続します。

デスクトップのビデオ エンドポイントの場合は、上記の方法に加えて次の方法を試してください。

- 不要なノイズを発生させているエンドポイントの入力ゲイン (音量) を小さくします。
- 音の小さいエンドポイントの出力音量を大きくします。
- ほとんどのコンピュータに内蔵されているマイクの音質は一般的によくありません。代わりに外部マイクを使用することをお勧めします。

- 1 人のユーザから複数のマイクが信号を発信している可能性があります。コンピュータのマイク、ビデオ カメラのマイク、およびオーディオ カードにプラグインされた外部マイクを確認し、1 つを残してすべてオフにしてください。
- 指向性マイクの付いたヘッドセットを使用します。
- 1 つの会議に参加するのに同じシステムでデスクトップのビデオ エンドポイントとスマートフォン (Cisco VT Advantage や Cisco Communicator など) を使用しないようにします。
- 一般的に、ソフトウェアベースのエンドポイントの音質は、ハードウェアベースのエンドポイントに比べて低くなります。

問題 ビデオ映像が現在の発言者にアップデートされない。

解決策

- 現在の発言者のビデオ機能が有効でない可能性があります。
- Cisco IPVC MCU の設定を確認します。[Voice Activated] ビューが [All see one] に設定されている必要があります。

問題 複数のビデオ リンクが確立されている。

解決策 Cisco MeetingPlace Video Integration で指定された E.164 アドレスが正しくありません。エントリーを変更するには、P 4-3 の「[Cisco MeetingPlace Video Integration のインストール時に入力した値の変更](#)」を参照してください。

問題 電話機のキーパッドのコマンドが機能しない (ミュートの #5 など)。

解決策 これは正しい動作です。ビデオ エンドポイントは Cisco IPVC MCU に接続されており、Cisco MeetingPlace Audio Server に直接接続されているわけではありません。このため、Cisco MeetingPlace のキー コマンドは適用されません。



- A**
- Allow Internet Access 4-12, 5-5
- C**
- Cisco CallManager 1-5, 2-4, 2-5, 2-7, 3-14, 3-15, 3-16
3-19, 6-8
- Cisco IOS H.323 ゲートキーパー 1-5
- Cisco IPVC MCU 1-3, 1-4, 2-3, 2-5, 2-6, 2-7, 3-2, 3-3
3-12, 4-2, 4-4, 4-5, 6-4, 6-7, 6-9
- Cisco IPVC PRI Gateway 2-3, 4-2
- Cisco MeetingPlace Audio Server 1-5, 2-3, 2-5, 3-2, 3-13,
5-11
- Cisco MeetingPlace for Outlook 1-5, 2-3, 2-5, 3-16, 5-6
- Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway 1-5, 2-3, 2-5,
3-14, 4-4, 6-7
- Cisco MeetingPlace MeetingTime 4-1
- Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway 2-5, 5-7
- Cisco MeetingPlace Video Integration の設定 6-4 6-5
- Cisco MeetingPlace Web Conferencing 1-5, 2-3, 2-5, 3-2
- Cisco VT Advantage 1-3, 1-5, 3-15, 5-7, 6-9
- D**
- Data Conferencing カード 3-3
- DMZ 構成 2-5, 3-19, 4-12, 5-5, 6-8
- E**
- E.164 番号 3-20, 4-2, 4-12, 6-8
- EMP (プロセッサ) 3-7
- G**
- G.711 3-13
- G.729 3-3, 3-15
- G.729a 3-13
- H**
- H.225 トランク 3-18
- H.320 ビデオ エンドポイント 2-3
- H.323 ゲートキーパー 2-3, 2-5, 2-7, 3-3, 3-14
- H.323 ビデオ エンドポイント 3-2, 3-7, 4-12
- I**
- ISDN ビデオ エンドポイント 3-2, 3-15, 3-16, 3-21,
4-2, 4-12
- IVR プロンプト 4-2
- M**
- MeetingTime 4-1
- MP (プロセッサ) 3-7
- Multipoint Control Unit 1-3
- R**
- Rate Matching カード 3-3
- S**
- SCCP ビデオ エンドポイント 3-2, 3-3, 3-7, 3-15, 4-12,
6-8
- Segmented Meeting Access、「DMZ 構成」を参照
Solution Reference Network Design (SRND) 1-5
- V**
- Video Service Code 4-2

- あ
- アドホック ビデオ会議 1-3, 1-4, 2-9, 3-14, 5-4, 5-8
 アンインストール 3-22
- い
- イベントログ 6-2
- え
- エンドユーザ
 ~用の情報 5-11
 エンドユーザのセットアップ 5-3
 エンドユーザ用の情報 5-11
 エンドポイント アドレス 5-3
- お
- 音質 3-13, 6-9
 音声送信のミュート 5-10
- か
- 会議室
 Cisco MeetingPlace Web Conferencing 1-4, 2-10,
 5-9 5-11
 会議の制御 2-7
 会議ビュー 3-9 3-12
 Continuous Presence 3-7
 Voice Activated 3-7
 出席、「参加」を参照
- け
- 継続会議 5-2
- こ
- 講義形式の会議 5-2, 5-10
 コーデック、音声 3-3, 3-13, 6-9
 互換性マトリクス 2-5
 コンポーネント 2-2
- さ
- サービス テンプレート
 Cisco MeetingPlace 3-7
 サービス プレフィクス 2-7, 2-8, 2-9, 3-3, 4-2
 サブ会議セッション 5-10
 参加 1-3, 2-3, 2-8 2-9, 5-6 5-8, 6-7 6-8
 アウトダイヤル 2-8, 3-2, 5-6, 6-8
 ダイヤルイン 2-7, 2-9, 3-2, 5-7, 6-7
 参加者のステータス 2-10
 参加者の退席 5-10
 参加者リスト 5-10
- し
- システム要件 2-5
 使用状況の統計、「レポート」を参照
- す
- スケジューリング 1-3, 1-4, 2-3, 2-7, 5-4 5-5, 6-6
 最小ポート数 2-7
- せ
- 制限付き会議 1-3, 5-8
 設定の変更 3-3, 4-3 4-4, 4-10
 前提条件 3-2
- そ
- 即時会議 5-2, 5-4, 5-5
- た
- 帯域幅 3-13, 4-5, 4-11, 4-13, 5-3
- つ
- 通知 1-3, 1-4, 5-6, 5-7
- て
- 定例会議 5-2
 テクニカル サポート 1-5

- と
- トラブルシューティング 6-1
- ね
- ネゴシエーションの優先順位 3-13
- は
- パスワード 1-3, 5-4, 5-8
 発信中 5-9
- ひ
- ビデオ エンドポイント 1-3, 2-4, 2-6, 3-2, 3-4, 3-15, 5-3
 ビデオ エンドポイント アドレス 4-12
 ビデオ オーバーブック ポート 1-4, 2-7, 4-5, 4-8, 4-9, 4-10
 ビデオ フロータ ポート 1-4, 2-7, 4-5, 4-7, 4-8 4-9
 ビデオ ポート 2-7
 スケジュール可能な最大数 4-5, 4-7
 スケジュールされているデフォルト数 4-5, 4-7
 ビデオ リンク 1-3, 2-3, 2-4, 2-8, 5-9, 6-7
 ビデオ映像 2-9, 6-9, 6-10
 ビデオ会議からの退席 5-11
 ビデオ会議の延長 1-3, 5-11
 ビデオ会議の開始 1-3, 2-7
 ビデオ会議の記録 5-10
 ビデオ会議の再スケジュール 5-5
 ビデオ会議の終了 2-10, 5-11
 ビデオ送信の一時停止 5-9, 5-10
 ビデオの電話番号 4-2
- 表示
- アクティブな発言者の表示 5-9, 5-10
 複数のユーザの表示 5-9, 5-10
- ふ
- ファイアウォール、「DMZ 構成」を参照 2-5
- へ
- 変換テーブル(Cisco MeetingPlace Audio Server) 3-13
- ま
- マニュアル 1-5
- ゆ
- ユーザ プロファイル 1-3, 1-4, 4-11 4-13, 5-3, 5-4, 5-5
- よ
- 予約不要の会議 5-2, 5-4, 5-5, 5-6
- ら
- ライセンス 3-2
- り
- リソース
- ビデオ ポートの最大数 4-6
 ビデオ会議の最大数 4-6
- リソース コントロール 3-3
 リソース制御 4-5
 リソースのアベイラビリティ
 トラッキング 2-10
- る
- ルーティング パターン 2-8, 3-3, 3-18
- れ
- レポート 1-4, 4-14 4-15, 6-8
- ろ
- ロード バランシングの設定 3-14, 6-8